

令和元年度

かいづのこども



海津市学校保健会

はじめに

日頃は、海津市学校保健会に対しまして、多大なるご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。私は、この重責に就任いたしまして今年で2年目になりました。

10月12日に台風19号が東海・関東・東北に被害をもたらしました。昭和33年の狩野川台風と同等の勢力を持った台風でしたが、省庁の垣根を超えた政府・自治体・メディアの、海・河川の管理、避難所の充実、報道などにより、当時よりも失う人命の数は激減しました。しかし、10日ほどたったいまだ被害状況の把握は進捗途中で被害の拡大が予想され心配です。命の尊さを改めて感じる機会でした。

市内では、小学校10校におよそ 1560人、中学校3校におよそ 880人の子どもたちが在籍しています。海津市学校保健会では、さまざまな職種の専門家や代表者が集まり、それぞれの観点から、健やかで元気な子供たちの育成をサポートします。「過保護」は個々の考える力を衰えさせる一方、「適切な保護」はその効果が現実の数字に表れます。「適切に保護」しつつも、個々の考える力を衰えさせないようにするにはどうしたらよいのか、海津市の将来を担う宝、子供たちの安全な教育環境をいかにサポートするかという重要な役割を担っており、心引き締まる思いです。

さて、その手引きとして、多数の先生方のご尽力とご協力によって、年に一度発行されておりますこの冊子「かいづのこども」は、大きく寄与するものと思います。この冊子をもとに、さらに多くの方に利用され、それが、海津の子どもたちの教育環境を整える一助となることを祈念しております。

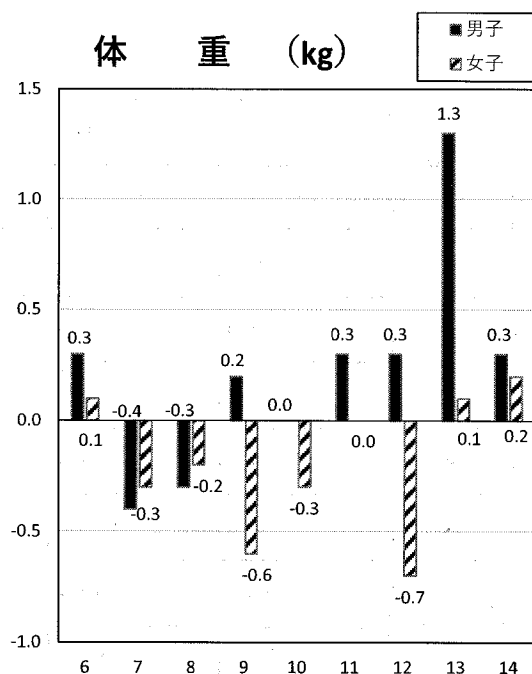
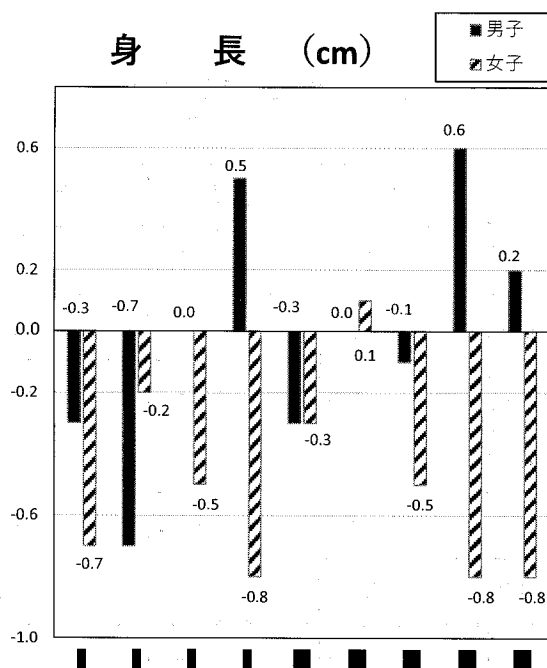
今後ともますます、海津市学校保健会に皆さま方、ご尽力いただけることを心からお願い申し上げて、はじめの挨拶とさせていただきます。

令和2年 2月吉日

海津市学校保健会

会長 野村 竜司

②市と全国との体格の差



〈注意〉肥満度による体格判断

栄養不良または肥満・やせ傾向は、次のような身長別標準体重をもとに肥満度を算出する。

$$\text{肥満度} = \frac{\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}}{\text{身長別標準体重 (kg)}} \times 100\%$$

〈判定基準〉+20%以上を肥満傾向、-20%以下をやせ傾向とする。

+20%以上+30%未満: 軽度肥満
 +30%以上+50%未満: 中等度肥満
 +50%以上: 高度肥満
 -20%以下: やせ傾向
 -30%以下: 高度やせ

■ 発育状況の考察 ■

〈小学校〉

- ・男子の体格においては、身長は4年生が、体重は1年生・4年生・6年生が全国平均を上回っている。
- ・女子の体格においては、6年生の身長以外、すべての学年で全国平均を下回っている。
- ・肥満度については、男女ともに高学年の割合が高くなる傾向にある。

〈中学校〉

- ・男子の体格においては、身長は1年生以外、全国平均を上回っている。
- ・体重はすべての学年で全国平均を上回っている。
- ・女子の体格においては、身長はすべての学年で下回り、体重は1年生以外は全国平均を上回っている。
- ・肥満度については、男女ともに肥満傾向が10%ほどいる。

(2)肥満度

①学校別比較

(%)

	男 子		女 子	
	やせ傾向 － 2 0 %以下	肥満傾向 ＋ 2 0 %以上	やせ傾向 － 2 0 %以下	肥満傾向 ＋ 2 0 %以上
高須小	0.76	11.36	0.00	4.83
吉里小	2.22	6.67	2.94	5.88
東江小	0.00	2.94	0.00	6.25
大江小	0.00	4.76	0.00	5.71
西江小	5.41	16.22	0.00	8.89
今尾小	1.87	3.74	0.00	7.53
海西小	0.00	1.67	0.00	5.36
石津小	0.61	9.15	0.67	4.00
城山小	0.75	4.48	2.11	6.34
下多度小	0.00	6.82	0.00	2.27
小学校平均	1.03	7.07	0.64	5.54

日新中	0.53	10.58	5.00	3.75
平田中	2.17	10.87	3.37	10.11
城南中	1.70	9.66	3.01	12.03
中学校平均	1.31	10.28	3.93	8.12

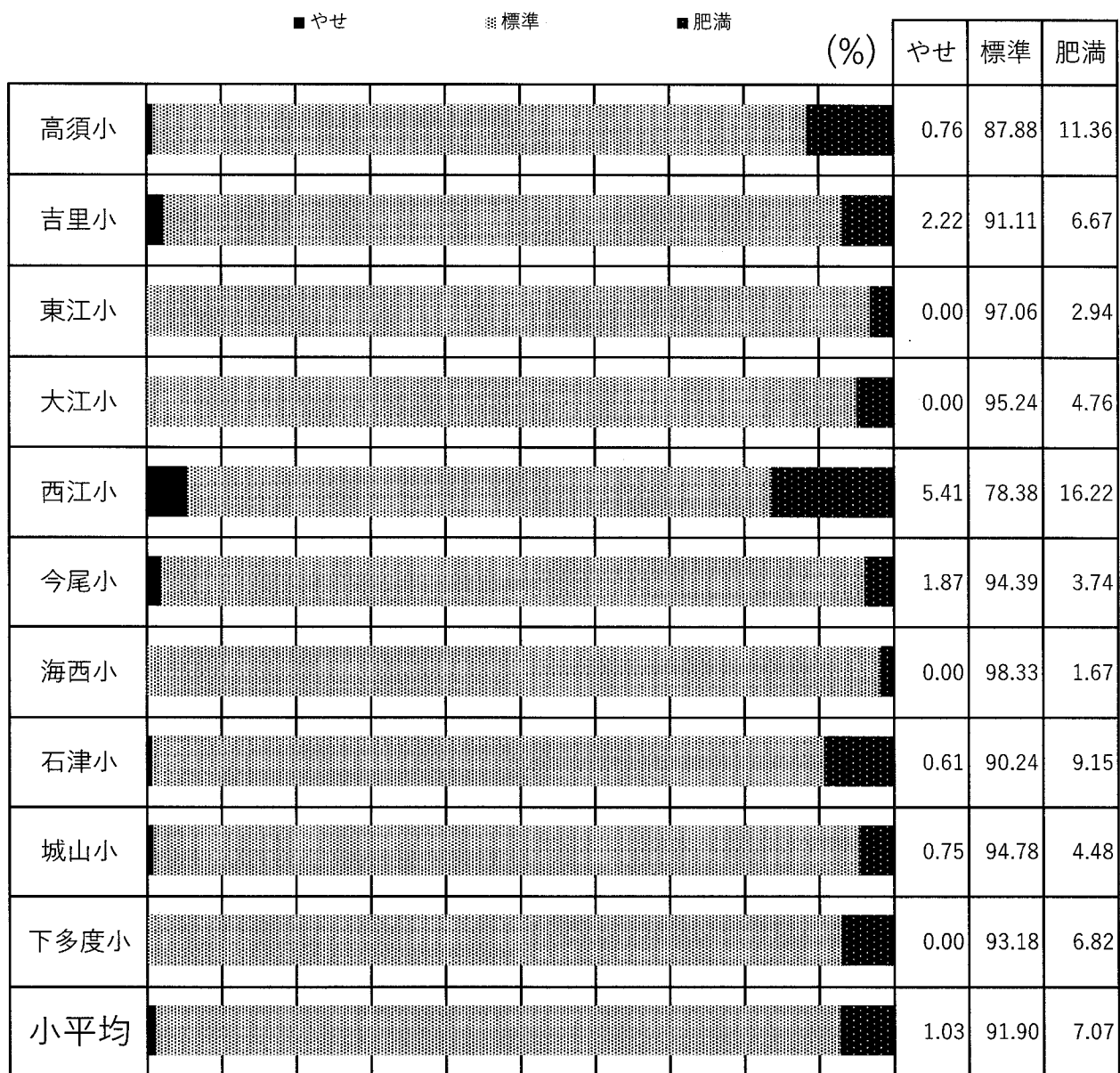
②学年別比較

(%)

	男 子		女 子	
	やせ傾向 － 2 0 %以下	肥満傾向 ＋ 2 0 %以上	やせ傾向 － 2 0 %以下	肥満傾向 ＋ 2 0 %以上
小1	0.00	6.67	0.00	4.80
小2	0.00	5.45	0.77	3.08
小3	0.70	3.52	0.00	6.15
小4	0.00	8.03	1.60	3.20
小5	2.61	11.11	0.74	5.93
小6	0.76	6.87	1.60	9.92

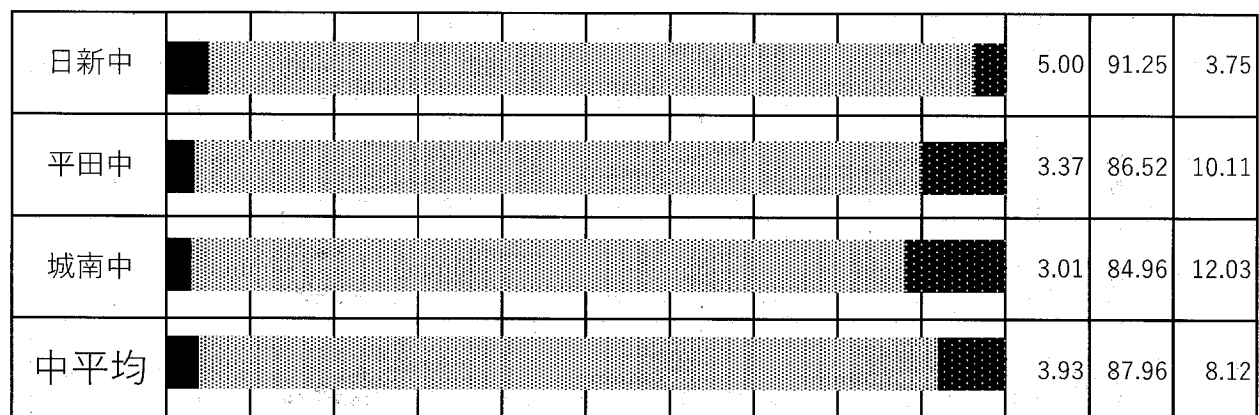
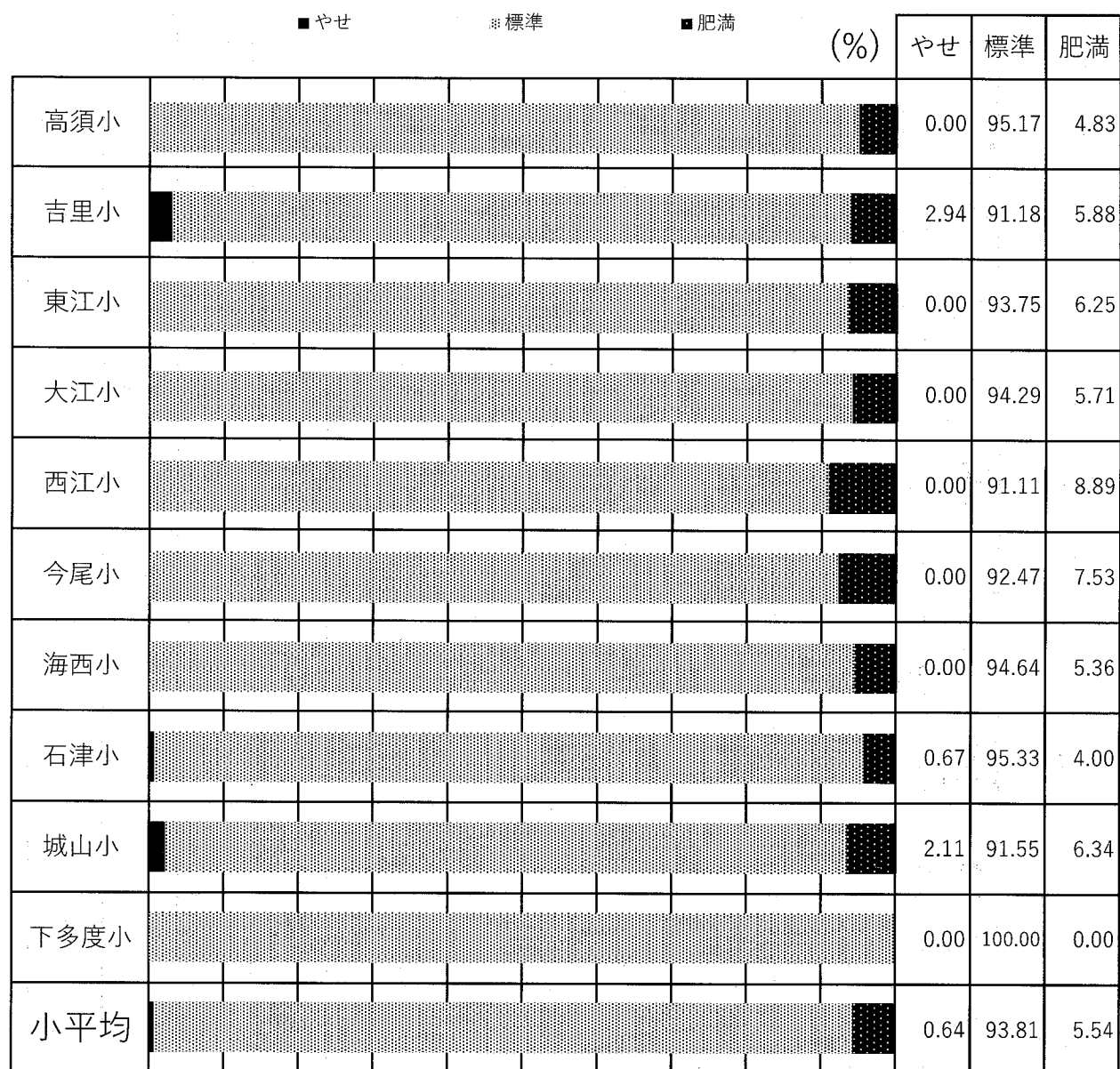
中1	1.85	12.96	2.67	12.96
中2	0.00	11.51	3.91	10.16
中3	1.92	6.41	5.77	10.58

③学校別グラフ(男子)

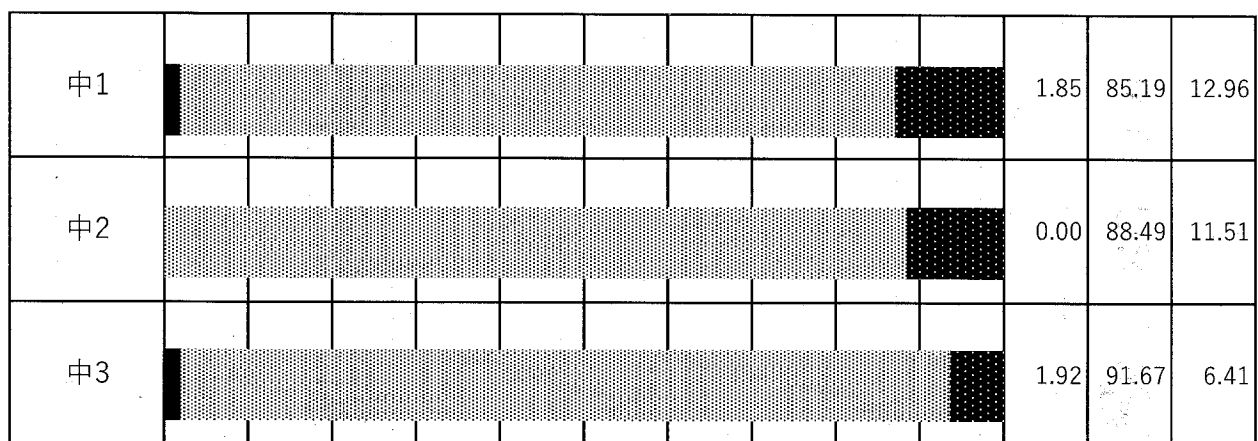
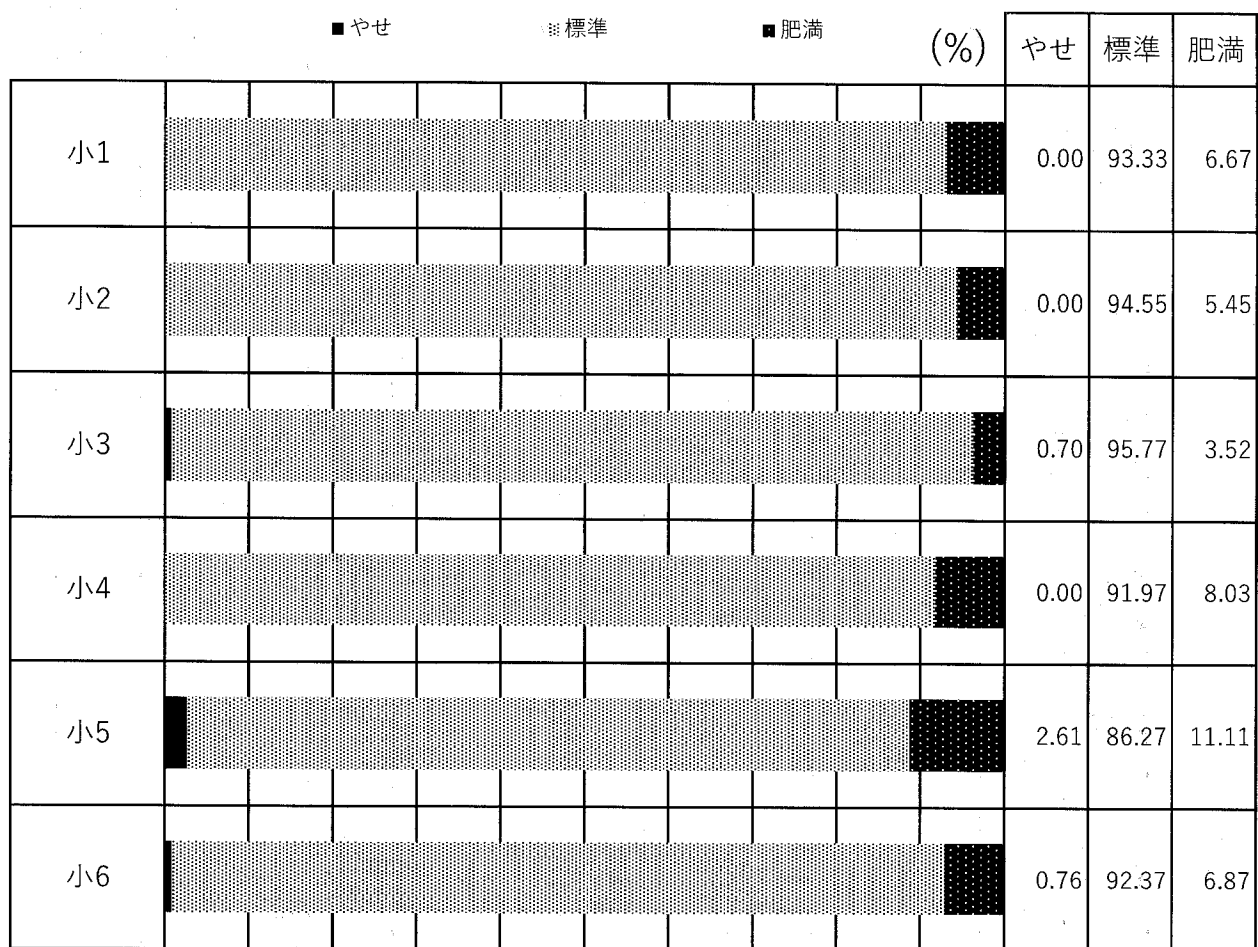


日新中	0.53	88.89	10.58
平田中	2.17	86.96	10.87
城南中	1.70	88.64	9.66
中平均	1.31	88.40	10.28

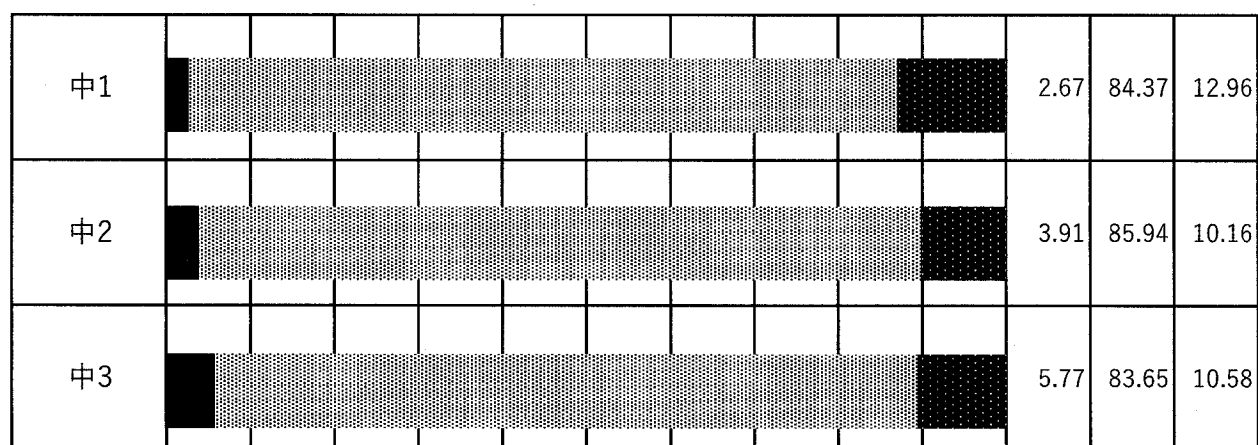
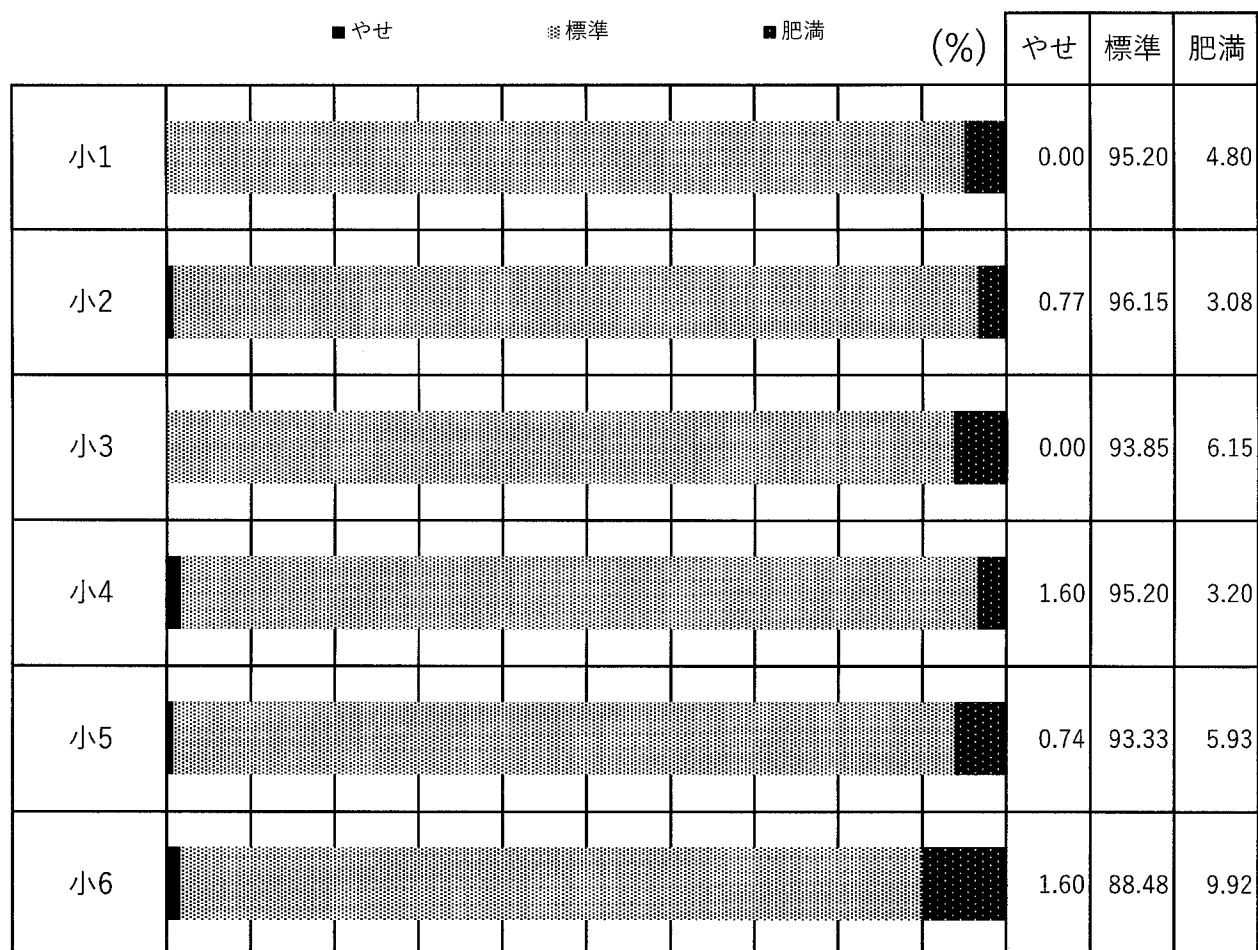
(女子)



④学年別グラフ(男子)



(女子)



Ⅱ 健康状況

(1) 歯科の状況

① 小学校

(男子)

(永久歯・乳歯)

(%)

	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均	全国平均
う歯所有者率	62.9	88.9	29.4	42.9	56.8	61.7	33.3	44.5	11.9	40.9	45.8	46.89
処置完了者率	29.5	62.2	14.7	14.3	21.6	38.3	20.0	25.0	9.7	25.0	25.8	23.75
未処置歯所有者率	33.3	26.7	14.7	28.6	35.1	23.4	13.3	19.5	2.2	15.9	19.9	23.14
歯列・咬合	37.9	11.1	5.9	4.8	0.0	0.0	3.3	4.3	6.0	2.3	9.8	4.49
顎関節	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.10
歯垢の状態	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	5.0	1.2	3.7	0.0	3.3	3.53
歯肉の状態	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	2.2	4.5	1.9	2.14
その他の疾病・異常	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	6.65

(女子)

(永久歯・乳歯)

(%)

	高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均	全国平均
う歯所有者率	62.1	85.3	53.1	31.4	46.7	43.0	51.8	43.3	14.1	40.9	43.8	43.63
処置完了者率	26.9	79.4	40.6	11.4	28.9	36.6	26.8	27.3	9.9	31.8	27.6	22.35
未処置歯所有者率	35.2	5.9	12.5	20.0	17.8	6.5	25.0	16.0	4.2	9.1	16.2	21.28
歯列・咬合	38.6	2.9	6.3	20.0	0.0	0.0	1.8	1.3	6.3	6.8	10.4	4.91
顎関節	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.10
歯垢の状態	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	1.4	0.0	1.9	2.67
歯肉の状態	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	2.1	4.5	3.5	1.67
その他の疾病・異常	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.3	6.78

②中学校

(男子)

(永久歯・乳歯)

(%)

	日新中	平田中	城南中	市平均	全国平均
う 歯 所 有 者 率	37.6	50.0	29.0	38.1	34.08
処 置 完 了 者 率	17.5	3.3	19.3	15.5	19.12
未 処 置 歯 所 有 者 率	20.1	46.7	9.7	22.5	14.96
歯 列 ・ 咬 合	38.1	0.0	4.0	18.8	5.04
顎 関 節	2.6	0.0	0.0	1.8	0.34
歯 垢 の 状 態	29.6	0.0	9.7	16.2	5.69
歯 肉 の 状 態	23.8	0.0	4.5	12.3	4.93
そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常	3.7	0.0	0.0	2.2	4.41
処 置 歯 率	48.3	22.5	62.5	42.6	
未 処 置 歯 率	51.7	77.5	37.5	57.4	

※処置歯率・未処置歯率は、1年生の永久歯のう歯。

(女子)

(永久歯・乳歯)

(%)

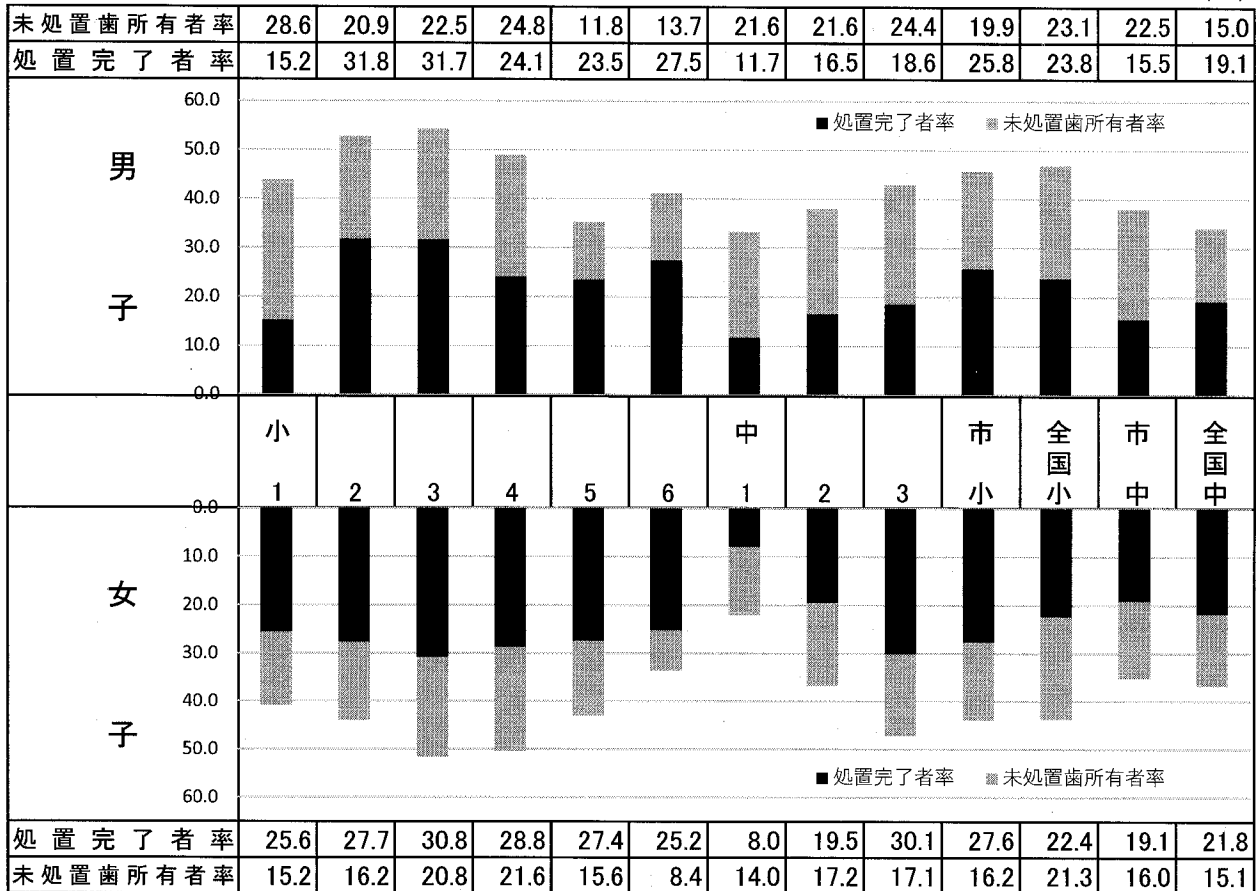
	日新中	平田中	城南中	市平均	全国平均
う 歯 所 有 者 率	36.3	31.5	36.0	35.1	36.81
処 置 完 了 者 率	18.1	1.1	29.1	19.1	21.75
未 処 置 歯 所 有 者 率	18.1	30.3	6.9	16.0	15.06
歯 列 ・ 咬 合	44.4	6.7	2.9	19.3	5.25
顎 関 節	6.9	0.0	0.0	2.6	0.42
歯 垢 の 状 態	13.1	0.0	0.6	5.2	3.72
歯 肉 の 状 態	11.9	0.0	1.1	5.0	3.32
そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常	3.8	0.0	0.0	1.4	3.66
処 置 歯 率	38.5	8.3	81.8	35.1	
未 処 置 歯 率	61.5	91.7	18.2	64.9	

※処置歯率・未処置歯率は、1年生の永久歯のう歯。

③学年別う歯の状況(小・中学校)

(乳歯・永久歯)

(%)



$$\text{う歯所有者率} = \frac{\text{う歯所有者数}}{\text{検査人数}} \times 100$$

$$\text{処置完了者率} = \frac{\text{処置完了者数}}{\text{検査人数}} \times 100$$

$$\text{未処置歯所有者率} = \frac{\text{未処置歯所有者数}}{\text{検査人数}} \times 100$$

$$\text{処置歯率} = \frac{\text{処置歯総数}}{\text{う歯総数}} \times 100$$

$$\text{未処置歯率} = \frac{\text{未処置歯数}}{\text{う歯総数}} \times 100$$

$$\text{口腔の疾病異常} = \frac{\text{口腔の疾病異常者数}}{\text{検査人数}} \times 100$$

・口腔の疾病異常には、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

■う歯の状況の考察■

- ・全国平均と比較して、小学校のう歯所有者は同等だが、中学校では上回っている。
- ・一方、処置完了者率は小学校は全国平均より上回っているが、中学校では下回っている。
- ・未処置歯所有者率は、小学校は男女ともに全国平均を下回っているが、中学校では上回っている。
- ・歯列・咬合、顎関節などにおいては、小中学校とも学校間の差が大きい。
- ・自分の口腔内の実態を正しく理解させ、家庭を含めた歯科保健の意識が高まるよう、保健指導を充実させていく。

(2)視力の状況

①小学校

(男子)

		高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均		全国平均
												計(人)	%	
検 査 人 数		132	45	34	21	37	107	60	164	134	44	778		
0.3 未 満	非 矯 正	2	0	0	3	0	3	0	5	2	0	15	1.9	8.13
	矯 正	6	0	0	1	1	10	1	10	8	5	42	5.4	
0.3 以 上 0.7 未 満	非 矯 正	15	6	2	0	1	3	3	11	10	3	54	6.9	11.49
	矯 正	0	3	2	1	0	4	1	3	3	2	19	2.4	
0.7 以 上 1.0 未 満	非 矯 正	8	0	7	0	3	14	12	35	20	1	100	12.9	10.99
	矯 正	0	1	3	0	2	2	0	0	2	1	11	1.4	
矯 正 視 力 の み 測 定		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1	
計		31	10	14	5	7	36	17	64	46	12	242	31.1	30.61
%		23.5	22.2	41.2	23.8	18.9	33.6	28.3	39.0	34.3	27.3			

(女子)

		高須小	吉里小	東江小	大江小	西江小	今尾小	海西小	石津小	城山小	下多度小	市平均		全国平均
												計(人)	%	
検 査 人 数		145	34	32	35	45	93	56	150	142	44	776		
0.3 未 満	非 矯 正	5	1	1	3	0	0	3	0	1	0	14	1.8	10.48
	矯 正	6	0	0	1	4	7	2	9	8	2	39	5.0	
0.3 以 上 0.7 未 満	非 矯 正	13	0	4	1	2	3	3	12	16	2	56	7.2	14.19
	矯 正	4	5	2	0	1	6	4	4	5	1	32	4.1	
0.7 以 上 1.0 未 満	非 矯 正	12	2	7	4	4	11	8	20	19	3	90	11.6	13.08
	矯 正	1	0	1	2	0	2	1	1	2	1	11	1.4	
矯 正 視 力 の み 測 定		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
計		41	8	15	11	11	29	21	46	51	9	242	31.2	37.75
%		28.3	23.5	46.9	31.4	24.4	31.2	37.5	30.7	35.9	20.5			

②中学校
(男子)

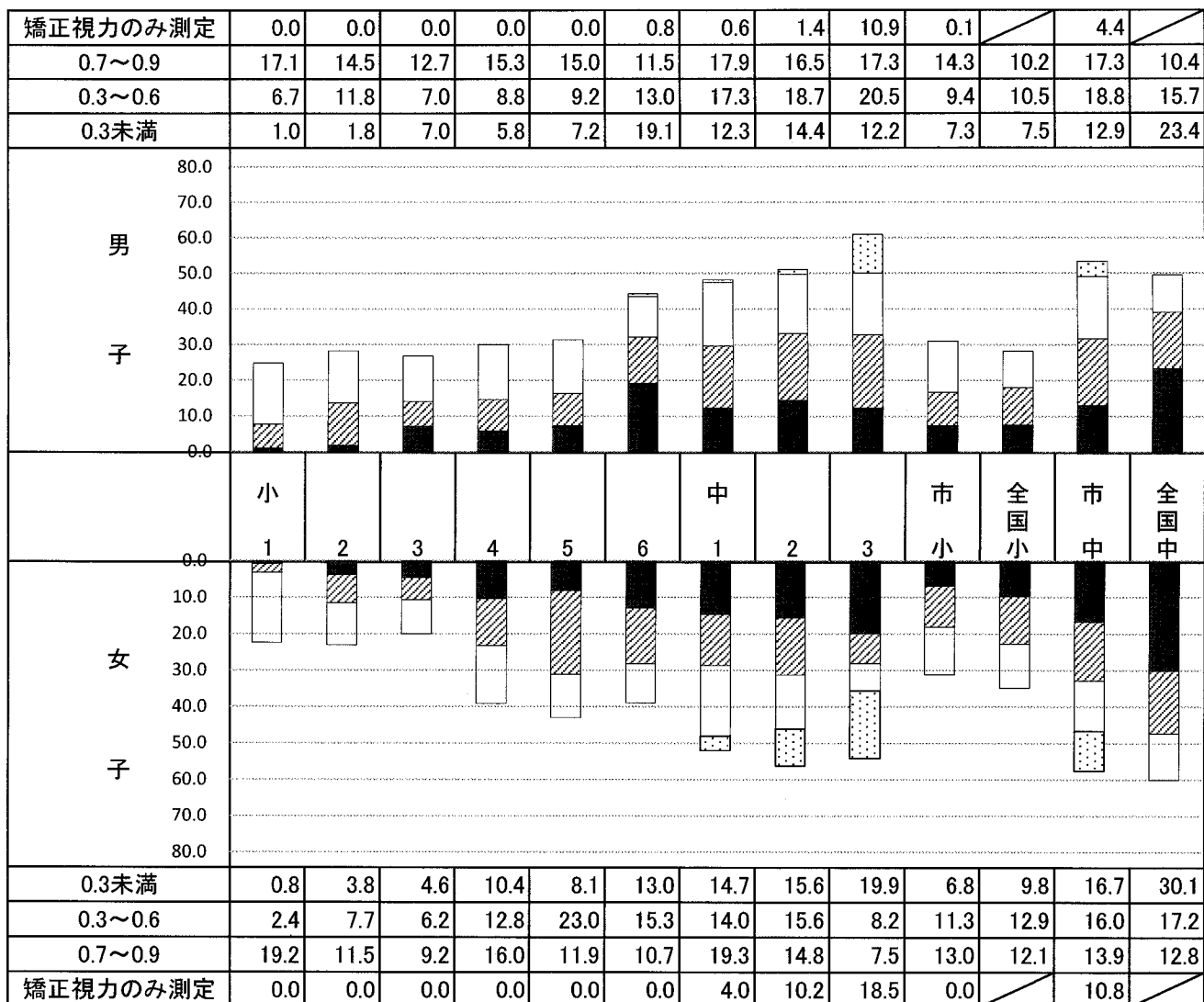
		日新中	平田中	城南中	市平均		全国平均
					計(人)	%	
検 査 人 数		189	92	176	457		
0.3 未 満	非 矯 正	8	2	7	17	3.7	22.58
	矯 正	0	22	20	42	9.2	
0.3 以 上 0.7 未 満	非 矯 正	15	2	17	34	7.4	18.66
	矯 正	17	8	8	33	7.2	
0.7 以 上 1.0 未 満	非 矯 正	23	2	25	50	10.9	11.12
	矯 正	11	2	4	17	3.7	
矯正視力のみ測定		5	1	8	14	3.1	
計		79	39	89	207	45.3	52.36
%		41.8	42.4	50.6			

(女子)

		日新中	平田中	城南中	市平均		全国平均
					計(人)	%	
検 査 人 数		160	89	175	424		
0.3 未 満	非 矯 正	5	3	8	16	3.8	28.63
	矯 正	2	26	27	55	13.0	
0.3 以 上 0.7 未 満	非 矯 正	11	5	15	31	7.3	19.82
	矯 正	17	10	6	33	7.8	
0.7 以 上 1.0 未 満	非 矯 正	10	8	23	41	9.7	11.44
	矯 正	14	2	2	18	4.2	
矯正視力のみ測定		23	1	22	46	10.8	
計		82	55	103	240	56.6	59.89
%		51.3	61.8	58.9			

③学年別視力の状況(小・中学校)

矯正視力のみ測定
 0.7～0.9
 0.3～0.6
 0.3未満



■視力の状況の考察■

- ・1. 0未満の割合を市平均と全国平均で比較してみると、小・中学校ともに女子は若干下回っている。
- ・特に小学校では、男女とも学年が上がるごとに視力低下が増加することから、視力低下の早期発見と専門医への早期受診、継続指導を勧め、家庭・学校でも経過観察を続けることが大切である。
- ・学校、家庭、専門医が連携を図り、1. 0未満の児童・生徒一人一人に応じた指導・配慮はもちろんのこと、全ての児童・生徒に対し、日常生活の姿勢指導などを通して、視力低下の予防を働きかける必要がある。

(3) 疾病・異常の状況等(健康診断)

① 小学校

(男子)

()内は%

		男 子										計 (人)	令 元 市 (%)	和 平 均 (%)	平 30 年 全 国 平 均 (%)	成 度 均 (%)
		高 須 小	吉 里 小	東 江 小	大 江 小	西 江 小	今 尾 小	海 西 小	石 津 小	城 山 小	下 多 度 小					
検 査 人 員		132	45	34	21	37	107	60	164	134	44	778				
裸眼視力1.0未満		(23.5) 31	(22.2) 10	(41.2) 14	(23.8) 5	(18.9) 7	(33.6) 36	(28.3) 17	(39.0) 64	(34.3) 46	(27.3) 12	242	(31.11)		(30.61)	
眼の疾病・異常		(7.6) 10	(11.1) 5	(17.6) 6		(2.7) 1	(15.0) 16	(10.0) 6	(6.1) 10	(2.2) 3	(9.1) 4	61	(7.84)		(6.02)	
難聴		(2.3) 3									(2.3) 1	4	(0.51)		(0.51)	
耳鼻咽喉頭	耳疾患	(3.8) 5	(4.4) 2	(2.9) 1	(4.8) 1	(5.4) 2	(3.7) 4		(5.5) 9	(4.5) 6		30	(3.86)		(6.63)	
	鼻・副鼻腔疾患	(9.1) 12	(8.9) 4	(11.8) 4	(4.8) 1	(8.1) 3	(12.1) 13	(10.0) 6	(7.3) 12	(5.2) 7	(9.1) 4	66	(8.48)		(15.78)	
	口腔咽喉頭疾患・異常		(6.7) 3									3	(0.39)		(1.49)	
歯・口腔	う 歯	処置完了者	(29.5) 39	(62.2) 28	(14.7) 5	(14.3) 3	(21.6) 8	(38.3) 41	(20.0) 12	(25.0) 41	(9.7) 13	(25.0) 11	201	(25.84)		(23.75)
		未処置のある者	(33.3) 44	(26.7) 12	(14.7) 5	(28.6) 6	(35.1) 13	(23.4) 25	(13.3) 8	(19.5) 32	(2.2) 3	(15.9) 7	155	(19.92)		(23.14)
	顎 関 節		(2.3) 3										3	(0.39)		(0.10)
	歯 列 ・ 咬 合		(37.9) 50	(11.1) 5	(5.9) 2	(4.8) 1			(3.3) 2	(4.3) 7	(6.0) 8	(2.3) 1	76	(9.77)		(4.49)
	歯 垢 の 状 態		(8.3) 11					(4.7) 5	(5.0) 3	(1.2) 2	(3.7) 5		26	(3.34)		(3.53)
	歯 肉 の 状 態		(3.8) 5					(4.7) 5			(2.2) 3	(4.5) 2	15	(1.93)		(2.14)
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常					(9.5) 2							2	(0.26)		(6.65)
	小 6 の DMF 歯 の 数		1.28	0.17	0.17	1.00	0.07	0.14	0.09	0.13	0.20	0.00		(0.41)		
栄 養	栄 養 不 良		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)		
	肥 満 傾 向		(1.5) 2	(4.4) 2		(4.8) 1							5	(0.64)		(1.91)
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常		(0.8) 1					(0.9) 1						2	(0.26)		(1.15)
皮 膚	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎		(3.8) 5	(6.7) 3	(5.9) 2	(9.5) 2	(3.7) 0	(5.0) 4	(0.6) 3	(3.7) 1			25	(3.21)		(3.65)
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患			(4.4) 2									2	(0.26)		(0.56)
結 核			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)		(0.00)
結 核 検 診	委 員 会 要 検 討		0	0	0	0	0	0	0	(0.6) 1			1	(0.13)		
	精 密 検 査 対 象		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)		(0.13)
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常		(2.3) 3	(2.2) 1			(5.4) 2	(1.9) 2	(5.0) 3	(1.8) 3		(4.5) 2	16	(2.06)		(0.84)	
心 電 図 異 常		(1.5) 2		(2.9) 1			(0.9) 1		(0.6) 1	(2.2) 3	(2.3) 1	9	(1.16)		(2.83)	

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

(男子の続き)

()内は%

		男 子											計 (人)	令 元 市 (%)	和 平 30 年 度 全 国 平 均 (%)	成 度 均 (%)
		高須 小	吉里 小	東江 小	大江 小	西江 小	今尾 小	海西 小	石津 小	城山 小	下多 度小					
尿 検 査	蛋 白 検 出	0	0	0	0	0	0	(1.7) 1	(1.2) 2	(0.7) 1	0	4	(0.51)	(0.56)		
	尿 糖 検 出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.06)		
そ の 他 疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息	(3.8) 5	(2.2) 1	(2.9) 1		(2.7) 1	(1.9) 2		(6.1) 10	(3.0) 4	0	24	(3.08)	(4.19)		
	糖 尿 病	1 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)			
		2 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)			
	腎 性 糖 尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)			
	腎 臓 疾 患	0	0	0	0	0	(1.9) 2		0	0	0	2	(0.26)	(0.21)		
	言 語 障 害	(0.8) 1	(4.4) 2		0	0	0		(1.2) 2		0	5	(0.64)	(0.56)		
	食物アレルギー	(5.3) 7	(6.7) 3	(5.9) 2	(4.8) 1	(10.8) 4	(11.2) 12	(15.0) 9	(9.1) 15	(12.7) 17	(4.5) 2	72	(9.25)			
	アナフィラキシー	(1.5) 2		(2.9) 1		0	(0.9) 1		(1.2) 2	(0.7) 1	(2.3) 1	8	(1.03)			
	そ の 他 の 疾 病 常 異	(7.6) 10	(8.9) 4	(2.9) 1	(4.8) 1	(8.1) 3	(8.4) 9		(6.7) 11	(6.7) 9	(4.5) 2	50	(6.43)	(5.44)		
発 育 の 評 価 (成長曲線の異常)		0	0	0	0	0	(0.9) 1	(5.0) 3		(2.2) 3	0	7	(0.90)			
学 校 生 活 管 理 指 導 表 活 用 者	気 管 支 ぜ ん 息	0	(2.2) 1	(2.9) 1	0	0	0		(3.0) 5	(1.5) 2	0	9	(1.16)			
	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	0	(2.2) 1		0	0	(0.9) 1		(0.6) 1	(0.7) 1	0	4	(0.51)			
	ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎	(0.8) 1	(2.2) 1	(2.9) 1		0	(1.9) 2		(3.0) 5		0	10	(1.29)			
	食物アレルギー	(1.5) 2	(2.2) 1	(5.9) 2		0	(3.7) 4	(8.3) 5	(6.1) 10	(0.7) 1	(2.3) 1	26	(3.34)			
	アナフィラキシー	(1.5) 2		(2.9) 1		0	(0.9) 1		(1.2) 2	(0.7) 1	(2.3) 1	8	(1.03)			
	ア レ ル ギ ー 性 鼻 炎	(0.8) 1	(4.4) 2	(5.9) 2		0	(0.9) 1		(3.7) 6	(0.7) 1	(2.3) 1	14	(1.80)			

(女子)

()は%

			女 子											計 (人)	令 元 市 (%)	和 平 30 年 全 国 平 均 (%)	成 度 均 (%)
			高 須 小	吉 里 小	東 江 小	大 江 小	西 江 小	今 尾 小	海 西 小	石 津 小	城 山 小	下 多 度 小					
検 査 人 員			145	34	32	35	45	93	56	150	142	44	776				
裸眼視力1.0未満			(28.3) 41	(23.5) 8	(46.9) 15	(31.4) 11	(24.4) 11	(31.2) 29	(37.5) 21	(30.7) 46	(35.9) 51	(20.5) 9	242	(31.19)	(37.75)		
眼 の 疾 病 ・ 異 常			(11.7) 17	(8.8) 3	(12.5) 4		(2.2) 1	(5.4) 5	(5.4) 3	(3.3) 5	(3.5) 5	(6.8) 3	46	(5.93)	(5.36)		
難 聴			0	0	0	0	0		(1.8) 1	0	0	0	1	(0.13)	(0.67)		
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患		(2.8) 4	(5.9) 2	(6.3) 2	(5.7) 2	(11.1) 5	0	(7.1) 4	(4.7) 7	(2.8) 4	0	30	(3.87)	(6.31)		
	鼻・副鼻腔疾患		(5.5) 8		(12.5) 4	(11.4) 4	(2.2) 1	(5.4) 5	(5.4) 3	(8.0) 12	(1.4) 2	(2.3) 1	40	(5.15)	(10.17)		
	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常			(2.9) 1			0	0	(1.8) 1		0	(2.3) 1	3	(0.39)	(1.20)		
歯・口腔	う 歯	処置完了者	(26.9) 39	(79.4) 27	(40.6) 13	(11.4) 4	(28.9) 13	(36.6) 34	(26.8) 15	(27.3) 41	(9.9) 14	(31.8) 14	214	(27.58)	(22.35)		
		未 処 置 歯 の 有 る 者	(35.2) 51	(5.9) 2	(12.5) 4	(20.0) 7	(17.8) 8	(6.5) 6	(25.0) 14	(16.0) 24	(4.2) 6	(9.1) 4	126	(16.24)	(21.28)		
	顎 関 節		(2.8) 4		0	0	0	0	0	0	0	0	4	(0.52)	(0.10)		
	歯 列 ・ 咬 合		(38.6) 56	(2.9) 1	(6.3) 2	(20.0) 7		0	(1.8) 1	(1.3) 2	(6.3) 9	(6.8) 3	81	(10.44)	(4.91)		
	歯 垢 の 状 態		(6.9) 10		0	0	0	(3.2) 3		0	(1.4) 2		15	(1.93)	(2.67)		
	歯 肉 の 状 態		(10.3) 15		0	0	0	(7.5) 7		0	(2.1) 3	(4.5) 2	27	(3.48)	(1.67)		
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常		0	0	0	(2.9) 1	0	0	(1.8) 1		0	0	2	(0.26)	(6.78)		
	小 6 の DMF 歯 の 数		1.72	0.20	0.00	0.00	0.33	0.06	0.33	0.21	0.62	0.00		(0.59)			
栄 養	栄 養 不 良		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(1.29)		
	肥 満 傾 向		0	0	0	(2.9) 1	0	0	0	0	0	0	1	(0.13)			
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常			0	0	0	0	0	(1.1) 1	0	0	0	0	1	(0.13)	(1.13)		
皮 膚	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎		(4.1) 6	(11.8) 4		(5.7) 2	0	(1.1) 1		(0.7) 1	(1.4) 2	(9.1) 4	20	(2.58)	(3.13)		
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患		0	(2.9) 1	0	0	0	0	0	0	0	(4.5) 2	3	(0.39)	(0.55)		
結 核			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.01)		
結 核 検 診	委 員 会 要 検 討		0	0	0	0	0	0	0	0	(0.7) 1	(4.5) 2	3	(0.39)			
	精 密 検 査 対 象		0	0	0	0	0	0	0	0	0	(4.5) 2	2	(0.26)	(0.12)		
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常			0	(5.9) 2	0	0	0	(1.1) 1	(1.8) 1	(3.3) 5		(2.3) 1	10	(1.29)	(0.78)		
心 電 図 異 常			(1.4) 2	0	0	(2.9) 1	0	0	(5.4) 3	(0.7) 1	(0.7) 1	(2.3) 1	9	(1.16)	(1.96)		

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

(女子の続き)

()内は%

		女 子												計 (人)	令 元 市 (	和 平 均 (	平 30 年 全 国 平 均 (	成 度 均 (
		高須 小	吉里 小	東江 小	大江 小	西江 小	今尾 小	海西 小	石津 小	城山 小	下多 度小							
尿 検 査	蛋 白 検 出	(1.4) 2	0	0	0	(2.2) 1	0	0	(0.7) 1	(0.7) 1	0	5	(0.64)	(1.06)				
	尿 糖 検 出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)	(0.07)				
そ の 他 疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息	(6.2) 9	0	0	0	(4.4) 2	(1.1) 1	0	(2.7) 4	0	0	16	(2.06)	(2.80)				
	糖 尿 病	1 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)					
		2 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)					
	腎 性 糖 尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.00)					
	腎 臓 疾 患	0	0	0	0	0	(1.1) 1	0	0	0	0	1	(0.13)	(0.21)				
	言 語 障 害	0	0	0	0	0	0	(1.8) 1	0	0	0	1	(0.13)	(0.30)				
	食物アレルギー	(6.9) 10	(8.8) 3	0	(2.9) 1	(2.2) 1	(1.1) 1	(3.6) 2	(4.0) 6	(5.6) 8	(6.8) 3	35	(4.51)					
	アナフィラキシー	0	0	0	0	(2.2) 1	0	0	(1.3) 2	0	(2.3) 1	4	(0.52)					
	その他の疾病 異 常	(5.5) 8	(8.8) 3	(3.1) 1	(2.9) 1	(4.4) 2	(6.5) 6	0	(2.7) 4	0	(2.3) 1	26	(3.35)	(3.49)				
発 育 の 評 価 (成長曲線の異常)		0	0	0	0	0	(1.1) 1	(5.4) 3	0	0	0	4	(0.52)					
学 校 生 活 管 理 指 導 表 活 用 者	気 管 支 ぜ ん 息	(0.7) 1	0	0	0	0	0	0	(0.7) 1	0	0	2	(0.26)					
	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	(0.7) 1	0	0	0	0	0	0	(0.7) 1	0	0	2	(0.26)					
	ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎	(2.1) 3	0	0	0	0	(1.1) 1	0	(1.3) 2	0	0	6	(0.77)					
	食物アレルギー	(1.4) 2	0	0	0	(2.2) 1	0	0	(2.0) 3	(2.1) 3	(4.5) 2	11	(1.42)					
	アナフィラキシー	0	0	0	0	(2.2) 1	0	0	(1.3) 2	0	(2.3) 1	4	(0.52)					
	ア レ ル ギ ー 性 鼻 炎	(2.1) 3	0	0	0	0	(1.1) 1	0	(1.3) 2	0	0	6	(0.77)					

②中学校
(男子)

()内は%

		男 子					令 和 元 年 度 市 平 均 (%)	平 成 30 年 度 全 国 平 均 (%)
		日 新 中	平 田 中	城 南 中	計			
検 査 人 員		189	92	176	457			
裸 眼 視 力 1.0 未 満		(40.7) 77	(42.4) 39	(47.7) 84	200	(43.76)	(52.36)	
眼 の 疾 病 ・ 異 常		(15.9) 30	(13.0) 12	(0.6) 1	43	(9.41)	(5.24)	
難 聴			(1.1) 1		1	(0.22)	(0.35)	
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患	(4.2) 8	(6.5) 6	(4.0) 7	21	(4.60)	(5.52)	
	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	(4.8) 9	(4.3) 4	(9.1) 16	29	(6.35)	(13.04)	
	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常	0	0	0	0	(0.00)	(0.82)	
歯 ・ 口 腔	う 歯	処 置 完 了 者	(17.5) 33	(3.3) 3	(19.3) 34	70	(15.32)	(19.12)
		未 処 置 歯 有 者	(20.1) 38	(46.7) 43	(9.7) 17	98	(21.44)	(14.96)
	顎 関 節		(2.6) 5		0	5	(1.09)	(0.34)
	歯 列 ・ 咬 合		(38.1) 72		(4.0) 7	79	(17.29)	(5.04)
	歯 垢 の 状 態		(29.6) 56		(9.7) 17	73	(15.97)	(5.69)
	歯 肉 の 状 態		(23.8) 45		(4.5) 8	53	(11.60)	(4.93)
	そ の 他 の 常 疾 病 ・ 異 常		(3.7) 7		0	7	(1.53)	(4.41)
	中 DMF 1 歯 の 数		0.46	1.18	0.49		(0.62)	
栄 養	栄 養 不 良		0	0	0	0	(0.00)	(1.29)
	肥 満 傾 向		0	0	0	0	(0.00)	
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常		(2.6) 5	(1.1) 1	(0.6) 1	7	(1.53)	(2.22)	
皮 膚	ア ト ピ ー 性 炎		(4.8) 9	(7.6) 7	(8.0) 14	30	(6.56)	(3.12)
	そ の 他 疾 患		(0.5) 1		0	1	(0.22)	(0.37)
結 核		0	0	0	0	(0.00)	(0.00)	
結 核 検 診	委 員 会 要 検 討		0	0	0	0	(0.00)	(0.10)
	精 密 検 査 対 象		0	0	0	0	(0.00)	
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常		(2.6) 5	(2.2) 2	(0.6) 1	8	(1.75)	(1.05)	
心 電 図 異 常		(0.5) 1		(0.6) 1	2	(0.44)	(3.62)	

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

(男子の続き)

()内は%

		男 子					
		日 新 中	平 田 中	城 南 中	計	令 和 元 年 度 市 平 均 (%)	平 成 30 年 度 全 国 平 均 (%)
尿 検 査	蛋 白 検 出	(0.5) 1	(1.1) 1	(1.7) 3	5	(1.09)	(3.25)
	尿 糖 検 出	0	0	(0.6) 1	1	(0.22)	(0.12)
そ の 他 疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息	(6.3) 12	(3.3) 3	(5.1) 9	24	(5.25)	(3.24)
	糖 尿 病	1 型		(0.6) 1	1	(0.22)	
		2 型		0	0	(0.00)	
	腎 性 糖 尿	0	0	0	0	(0.00)	
	腎 臓 疾 患	(0.5) 1	0	(1.1) 2	3	(0.66)	(0.25)
	言 語 障 害	(0.5) 1	0	0	1	(0.22)	(0.13)
	食 物 ア レ ル ギ ー	(9.0) 17	(4.3) 4	(12.5) 22	43	(9.41)	
	ア ナ フ ィ ラ キ シ ー	(1.1) 2	(1.1) 1	0	3	(0.66)	
	そ の 他 の 疾 病 常 異	(4.2) 8	(4.3) 4	(4.0) 7	19	(4.16)	(5.11)
発 (成	育 の 評 価 長 曲 線 の 異 常)	(1.6) 3	(1.1) 1	(0.6) 1	5	(1.09)	
学 校 生 活 管 理 指 導 表 活 用 者	気 管 支 ゼ ん 息	(0.5) 1	0	(1.1) 2	3	(0.66)	
	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	0	0	0	0	(0.00)	
	ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎	(0.5) 1	0	(0.6) 1	2	(0.44)	
	食 物 ア レ ル ギ ー	(0.5) 1	(2.2) 2	(1.7) 3	6	(1.31)	
	ア ナ フ ィ ラ キ シ ー	(0.5) 1	(1.1) 1	0	2	(0.44)	
	ア レ ル ギ ー 性 鼻 炎	(0.5) 1	0	(1.1) 2	3	(0.66)	

(女子)

()内は%

			女 子					
			日 新 中	平 田 中	城 南 中	計	令 和 元 年 度 市 平 均 (%)	平 成 30 年 度 全 国 平 均 (%)
検 査 人 員			160	89	175	424		
裸 眼 視 力 1.0 未 満			(44.4) 71	(60.7) 54	(55.4) 97	222	(52.36)	(59.89)
眼 の 疾 病 ・ 異 常			(5.0) 8	(2.2) 2	(1.1) 2	12	(2.83)	(4.48)
難 聴			0	0	0	0	(0.00)	(0.37)
耳 鼻 咽 頭	耳 疾 患		(3.1) 5	0	(1.1) 2	7	(1.65)	(3.89)
	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患		(2.5) 4	(3.4) 3	(6.3) 11	18	(4.25)	(8.84)
	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常		0	0	0	0	(0.00)	(0.67)
歯 ・ 口 腔	う 歯	処 置 完 了 者	(18.1) 29	(1.1) 1	(29.1) 51	81	(19.10)	(21.75)
		未 処 置 有 の 者	(18.1) 29	(30.3) 27	(6.9) 12	68	(16.04)	(15.06)
	顎 関 節		(6.9) 11	0	0	11	(2.59)	(0.42)
	歯 列 ・ 咬 合		(44.4) 71	(6.7) 6	(2.9) 5	82	(19.34)	(5.25)
	歯 垢 の 状 態		(13.1) 21	0	(0.6) 1	22	(5.19)	(3.72)
	歯 肉 の 状 態		(11.9) 19	0	(1.1) 2	21	(4.95)	(3.32)
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常		(3.8) 6	0	0	6	(1.42)	(3.66)
	中 1 DMF 歯 の 数		0.71	0.80	0.49		(0.49)	
栄 養	栄 養 不 良		0	0	0	0	(0.00)	(1.04)
	肥 満 傾 向		0	0	0	0	(0.00)	
脊 柱 ・ 胸 郭 異 常			(5.6) 9	0	0	9	(2.12)	(2.58)
皮 膚	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎		(6.9) 11	(4.5) 4	(5.1) 9	24	(5.66)	(2.58)
	そ の 他 の 皮 膚 疾 患		0	0	0	0	(0.00)	(0.31)
結 核			0	0	0	0	(0.00)	(0.00)
結 核 検 診	委 員 会 要 検 討		0	0	0	0	(0.00)	
	精 密 検 査 対 象		0	0	0	0	(0.00)	(0.07)
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常			(1.9) 3	(2.2) 2	(0.6) 1	6	(1.42)	(0.93)
心 電 図 異 常			(0.6) 1	0	(0.6) 1	2	(0.47)	(2.91)

※歯・口腔のその他の疾病・異常には口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等が含まれる。

(女子の続き)

()内は%

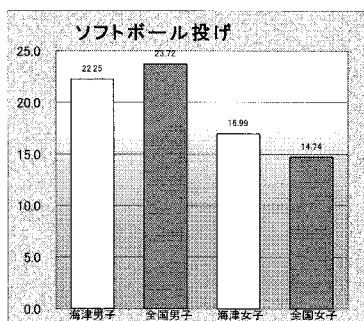
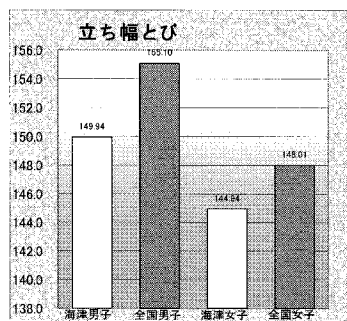
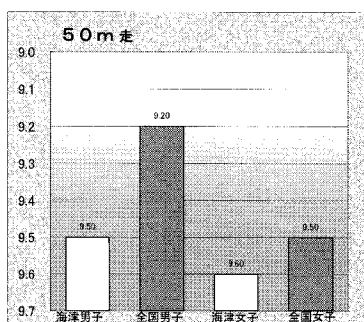
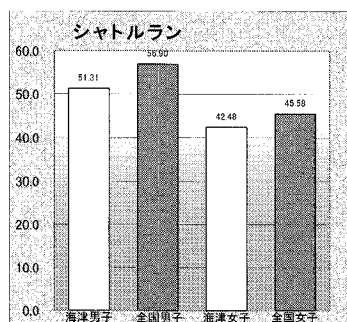
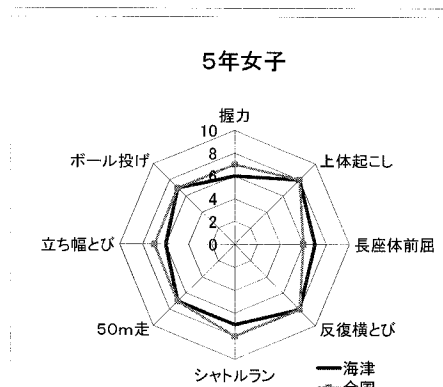
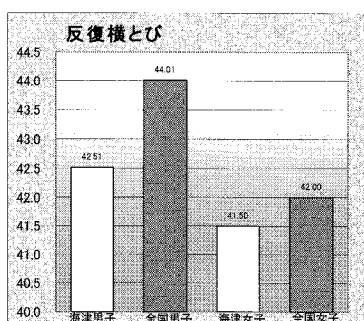
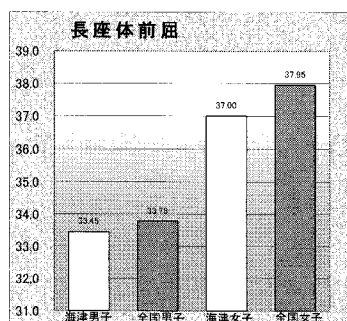
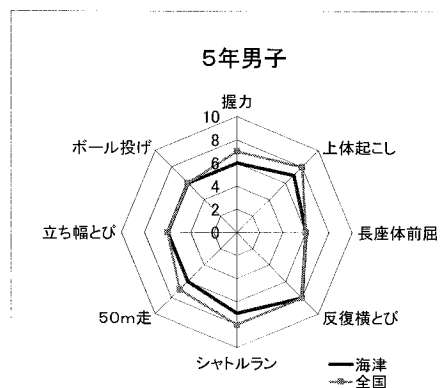
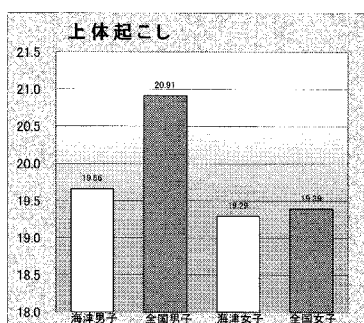
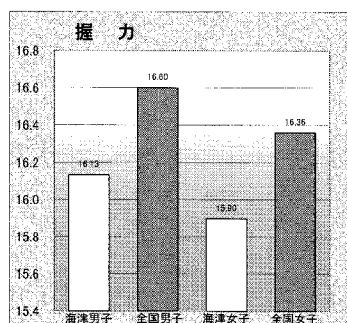
			女 子					
			日 新 中	平 田 中	城 南 中	計	令 和 元 年 度 市 平 均 (%)	平 成 30 年 度 全 国 平 均 (%)
尿 検 査	蛋 白 検 出		0	(1.1) 1	(1.1) 2	3	(0.71)	(2.54)
	尿 糖 検 出		0	0	0	0	(0.00)	(0.13)
そ の 他 疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息		(3.1) 5	(1.1) 1	(1.1) 2	8	(1.89)	(2.16)
	糖 尿 病	1 型	0	0	0	0	(0.00)	
		2 型	0	0	0	0	(0.00)	
	腎 性 糖 尿		0	0	0	0	(0.00)	
	腎 臓 疾 患		(0.6) 1	0	0	1	(0.24)	(0.21)
	言 語 障 害		0	0	0	0	(0.00)	(0.07)
	食 物 ア レ ル ギ ー		(10.0) 16	(1.1) 1	(6.9) 12	29	(6.84)	
	ア ナ フィ ラ キ シ ー		0	0	0	0	(0.00)	
	そ の 他 の 疾 病 常 異		(2.5) 4	(4.5) 4	(3.4) 6	14	(3.30)	(4.27)
発 育 の 評 価 (成 長 曲 線 の 異 常)			(0.6) 1	0	(0.6) 1	2	(0.47)	
学 校 生 活 管 理 指 導 表 活 用 者	気 管 支 ゼ ん 息		0	0	(0.6) 1	1	(0.24)	
	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎		0	0	(0.6) 1	1	(0.24)	
	ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎		(0.6) 1	0	(0.6) 1	2	(0.47)	
	食 物 ア レ ル ギ ー		(0.6) 1	0	(1.7) 3	4	(0.94)	
	ア ナ フィ ラ キ シ ー		0	0	0	0	(0.00)	
	ア レ ル ギ ー 性 鼻 炎		(0.6) 1	0	(1.7) 3	4	(0.94)	

Ⅲ. 体力の状況

(1) 小学校運動能力テストの結果

各種目別平均・全国との比較

平成31年度 5	テスト項目	男子				女子			
		海津		全国		海津		全国	
		平均	得点	平均	得点	平均	得点	平均	得点
	握力 (kg)	16.13	6	16.60	6	15.90	6	16.36	7
	上体起こし (cm)	19.66	7	20.91	8	19.29	8	19.39	8
	長座体前屈 (cm)	33.45	6	33.78	6	37.00	7	37.95	7
	反復横とび (回)	42.51	8	44.01	8	41.50	8	42.00	8
	シャトルラン (回)	51.31	7	56.90	7	42.48	7	45.58	8
	50m 走 (秒)	9.50	6	9.20	7	9.60	7	9.50	7
	立ち幅とび (cm)	149.94	6	155.10	6	144.94	6	148.01	7
	ボール投げ (m)	22.25	6	23.72	6	16.99	7	14.74	7



〈結果〉

5年生

得点でみるとほとんどの種目において、男女ともに全国と同じであるが、平均でみるとほぼ全ての種目において、全国を下回っている。女子のソフトボール投げ(巧緻性・瞬発力)のみ、全国平均を上回っている。

・6年生

男子は握力(筋力)が全国平均を上回っているが、長座体前屈(柔軟性)と50m走(スピード)において全国平均を下回っている。女子はソフトボール投げ(巧緻性・瞬発力)が全校平均を上回っているが、握力(筋力)、上体起こし(筋力・筋持久力)、50m走(スピード)が全国平均を下回っている。

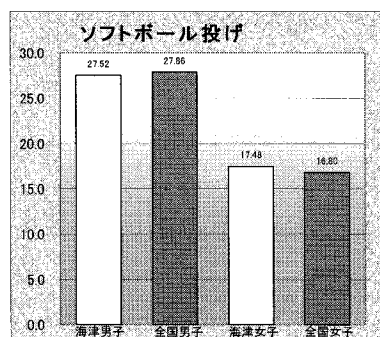
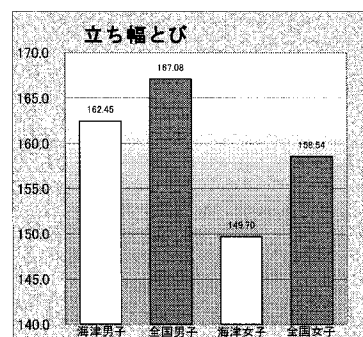
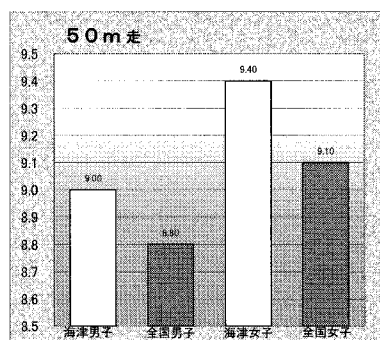
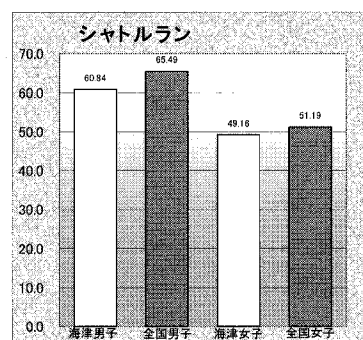
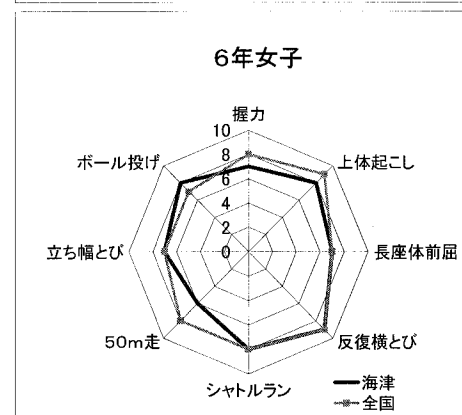
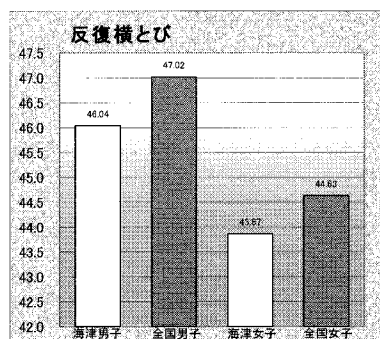
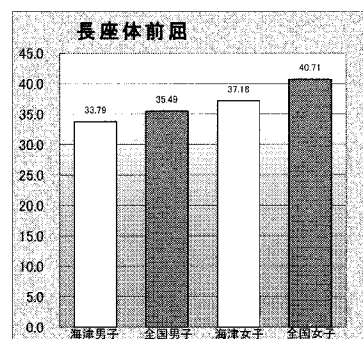
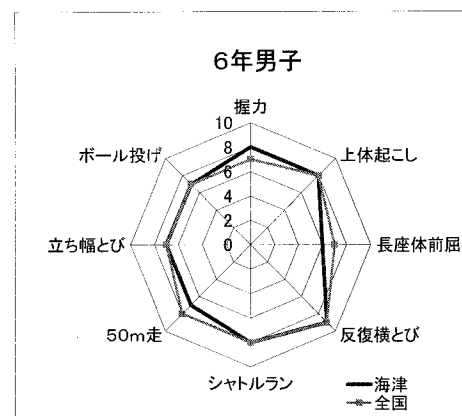
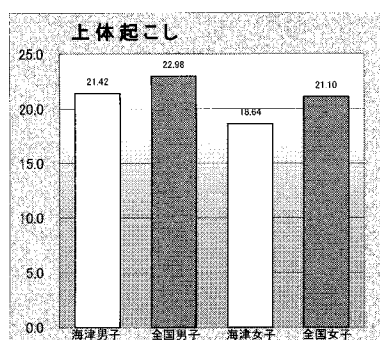
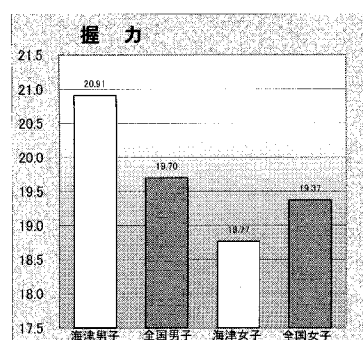
〈考察〉

全国平均を下回る種目が5・6年男女ともに目立つことから、基礎体力の低下に歯止めがかかっていないと考えられる。教科体育の充実はもちろんのこと、日常生活の中での体力向上の場を設けたい。(休み時間の外遊び・学校独自で運動に親しむ機会を設けるなど)その際、漠然と運動を行うのではなく、課題となる運動技能の向上につながるような工夫を図りたい。更に、低学年のうちから様々な運動遊びに親しむ機会をつくり、運動嫌いな子をつくらぬ工夫をしていくことが必要だと考える。また、保護者への啓発も図りたい。

・各校で実態を分析し、課題となる運動技能を高めるための取組を意図的に仕組むことが必要と考える。

各種目別平均・全国との比較

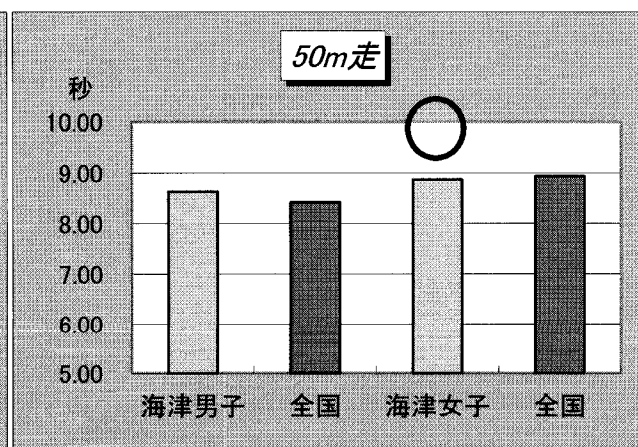
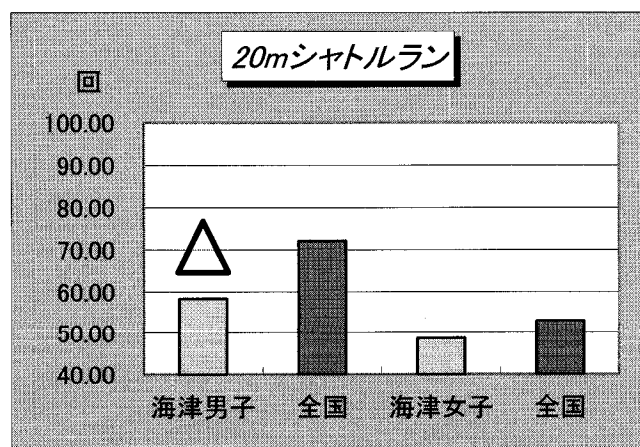
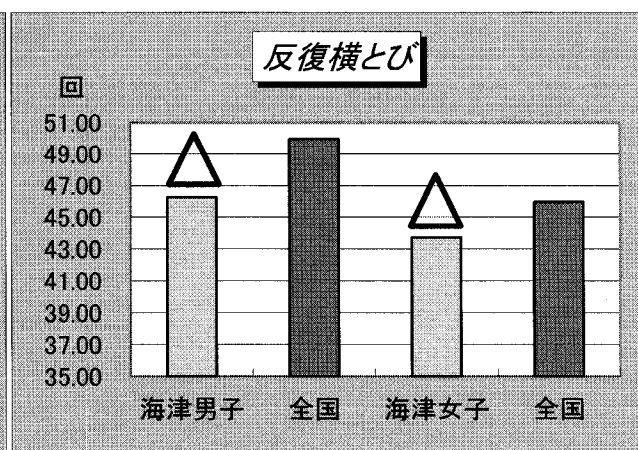
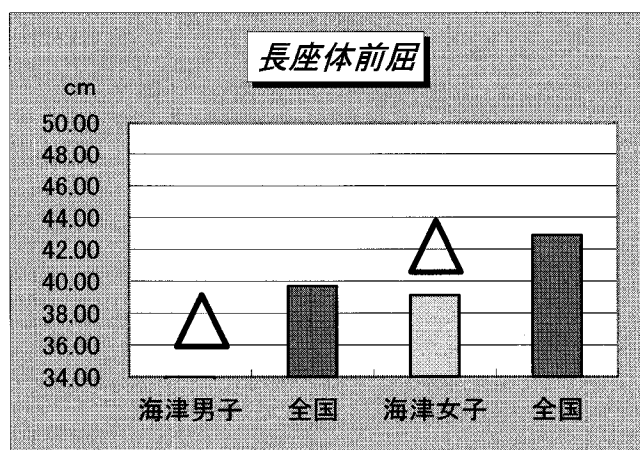
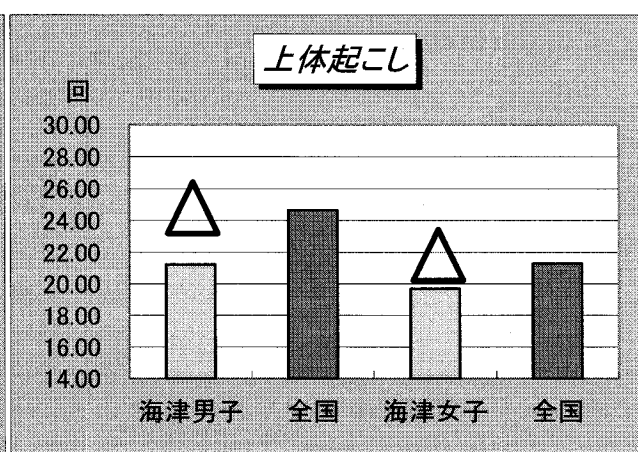
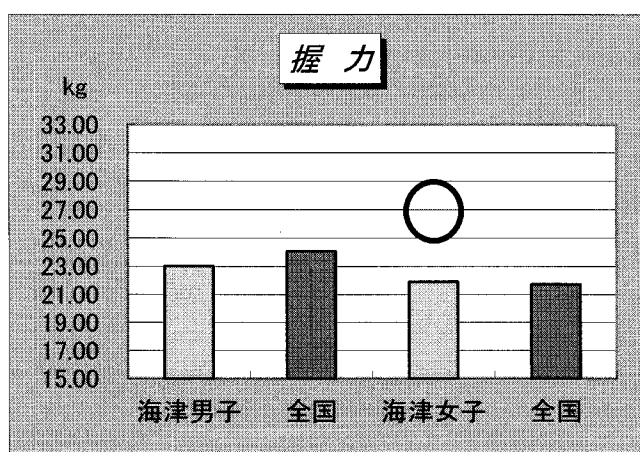
平成31年度 6	テスト項目	男子				女子			
		海 津		全 国		海 津		全 国	
		平均	得点	平均	得点	平均	得点	平均	得点
	握 力 (kg)	20.91	8	19.70	7	18.77	7	19.37	8
	上 体 起 こ し (cm)	21.42	8	22.98	8	18.64	8	21.10	9
	長 座 体 前 屈 (cm)	33.79	6	35.49	7	37.18	7	40.71	7
	反 復 横 と び (回)	46.04	9	47.02	9	43.87	9	44.63	9
	シャトルラン (回)	60.84	8	65.49	8	49.16	8	51.19	8
	50m 走 (秒)	9.00	7	8.80	8	9.40	6	9.10	7
	立 ち 幅 と び (cm)	162.45	7	167.08	7	149.70	7	158.54	7
	ポ ー ル 投 げ (m)	27.52	7	27.86	7	17.48	8	16.80	7



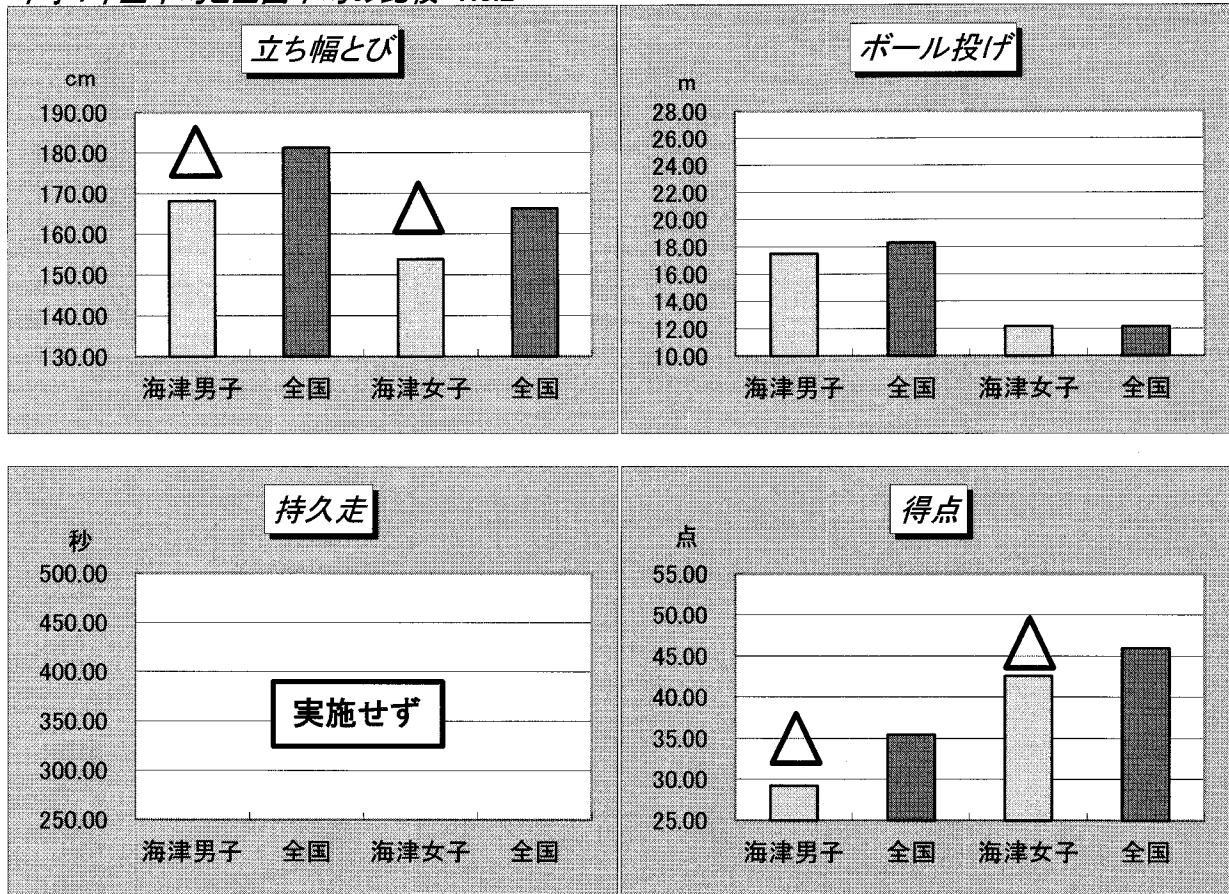
(2) 中学校運動能力テストの結果

中学1年生平均と全国平均の比較 No.1

令和元年度 1年生	男子		女子	
	海津 平均	全国 平均	海津 平均	全国 平均
種目				
握力	23.01	24.07	21.90	21.71
上体起こし	21.23	24.64	19.70	21.29
長座体前屈	33.27	39.7	39.12	42.87
反復横とび	46.24	49.96	43.71	45.95
20mシャトルラン	58.39	72.11	48.72	53.12
50m走	8.63	8.42	8.87	8.93
立ち幅とび	168.14	181.24	153.82	166.19
ボール投げ	17.49	18.29	12.17	12.16
持久走	0.00	0	0.00	0
得点合計	29.22	35.44	42.55	45.97



中学1年生平均と全国平均の比較 No.2

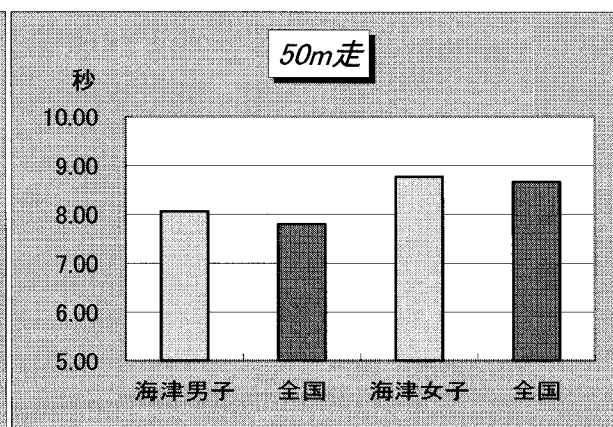
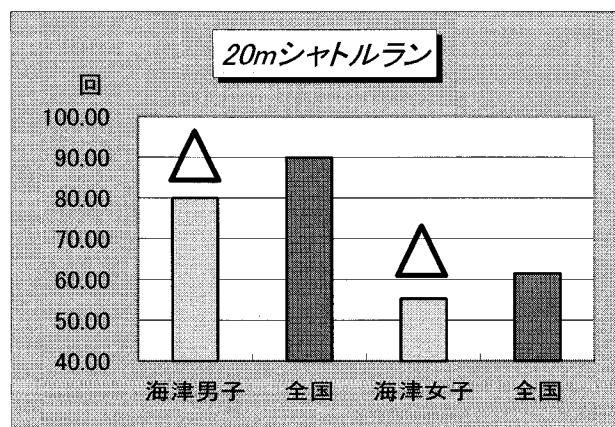
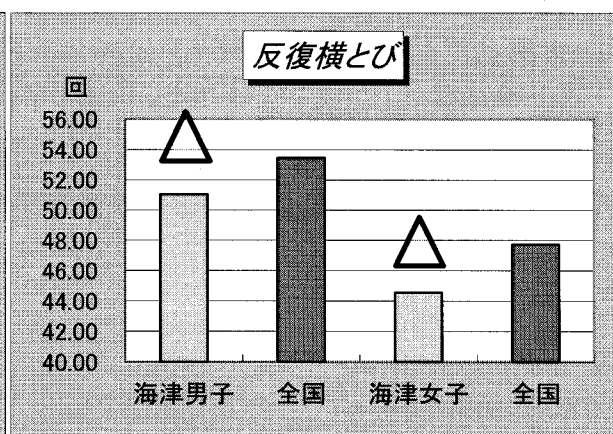
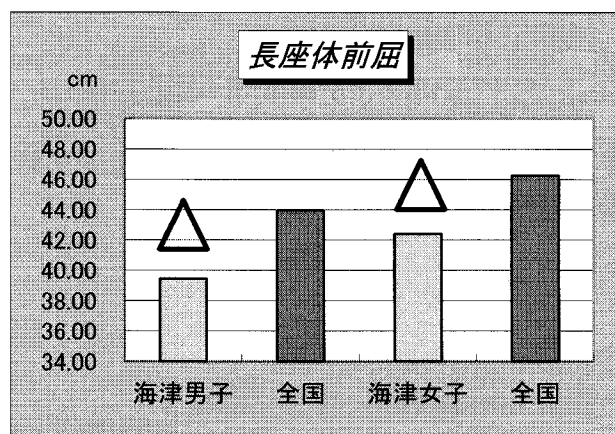
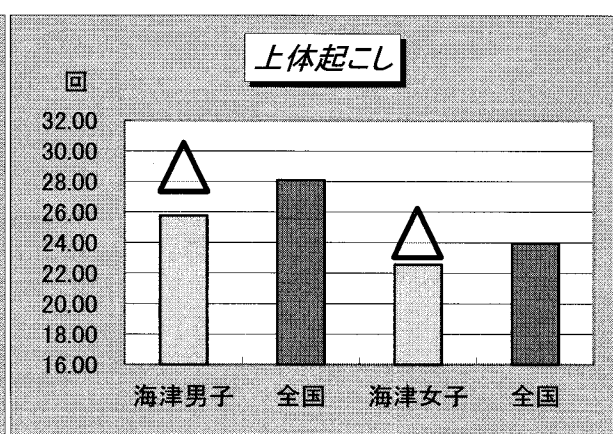
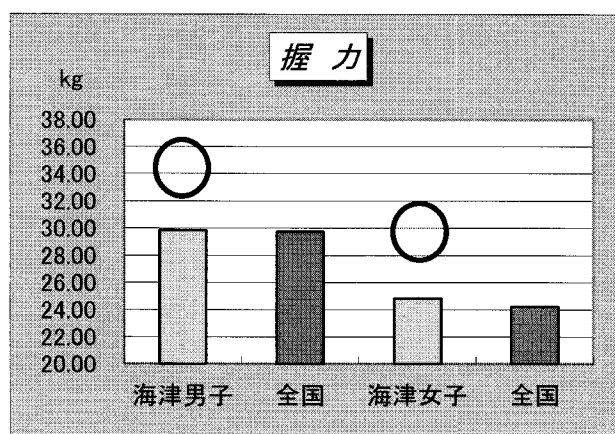


<考察(1年生)>

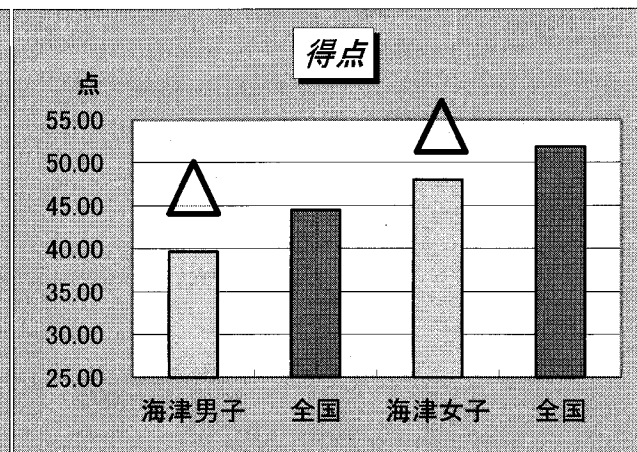
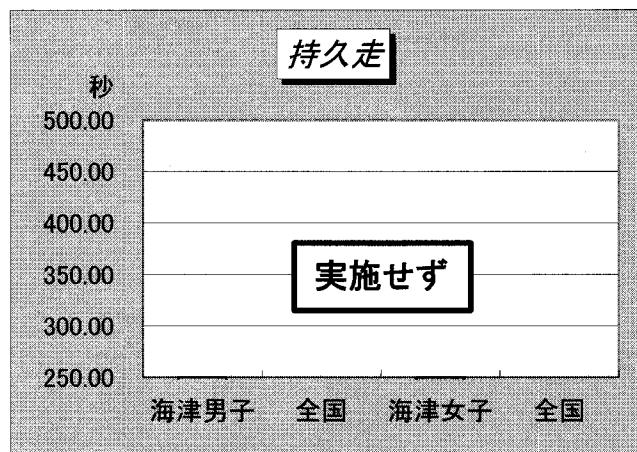
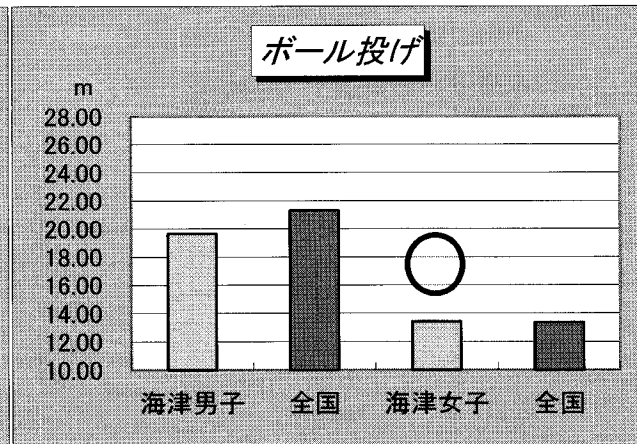
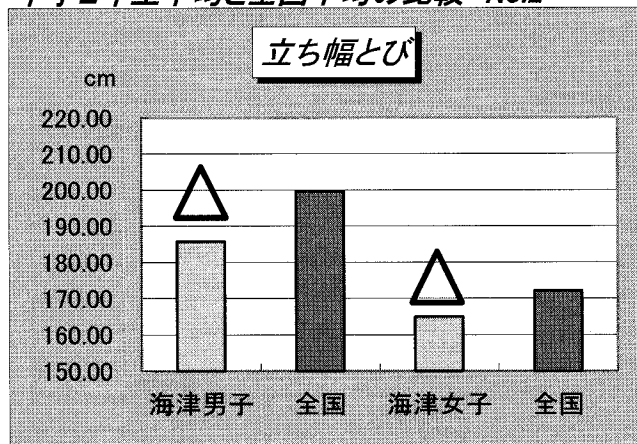
○女子においては、握力・50m走・ボール投げの3種目において全国平均を上回った。
 ●男子においては、どの種目も全国平均を下回っている。その中でも、柔軟性や立幅跳び等、著しく全国平均を下回っている種目もある。小学校とも連携しながら、基礎的な体力の向上を図るための手立てを段階的に進めていくよう、教科研究部会等で話題にしながら検討をしていく必要がある。

中学2年生平均と全国平均の比較 No.1

令和元年度 2年生	男子		女子	
	海津 平均	全国 平均	海津 平均	全国 平均
種目				
握力	29.84	29.75	24.83	24.22
上体起こし	25.77	28.08	22.58	23.96
長座体前屈	39.45	43.95	42.39	46.25
反復横とび	51.03	53.45	44.55	47.73
20mシャトルラン	79.96	89.93	55.28	61.52
50m走	8.06	7.80	8.77	8.66
立ち幅とび	185.67	199.64	164.94	172.06
ボール投げ	19.64	21.29	13.41	13.35
持久走		0.00		0.00
得点合計	39.66	44.48	48.00	51.84



中学2年生平均と全国平均の比較 No.2

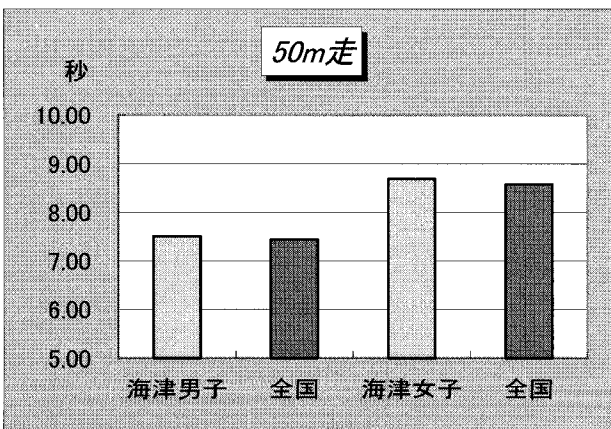
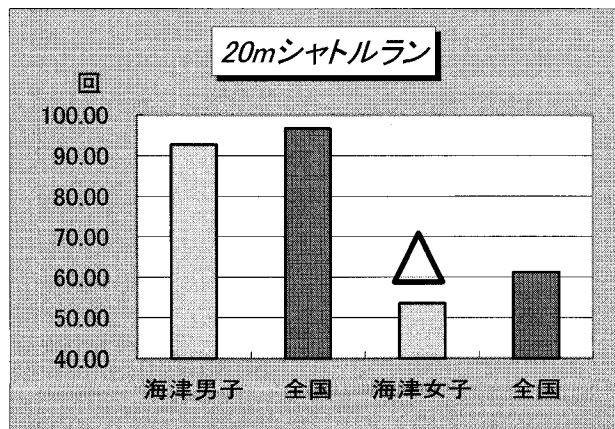
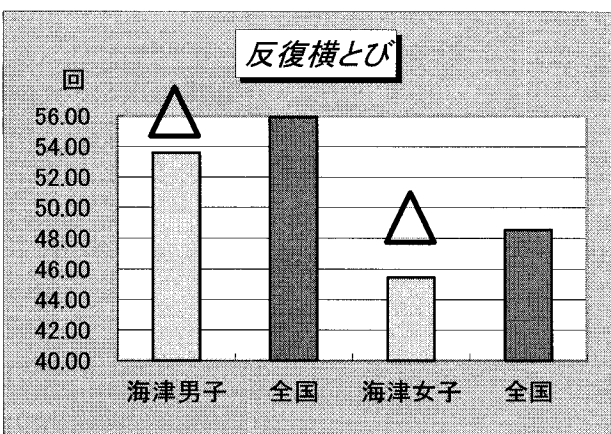
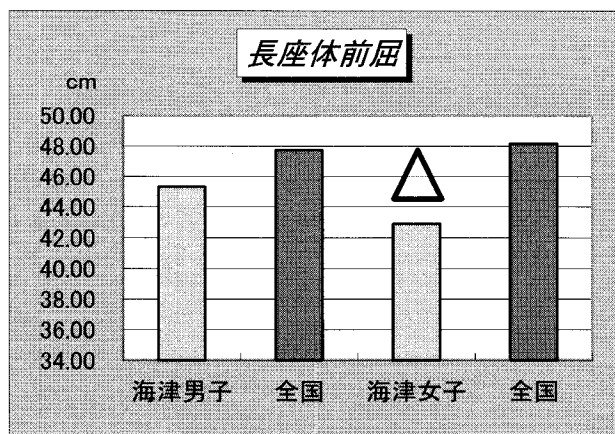
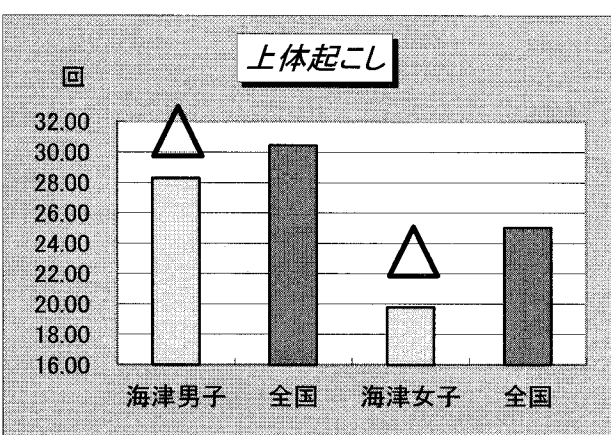
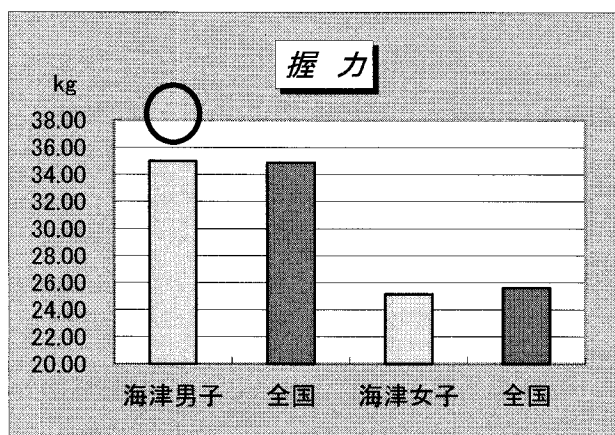


<考察(2年生)>

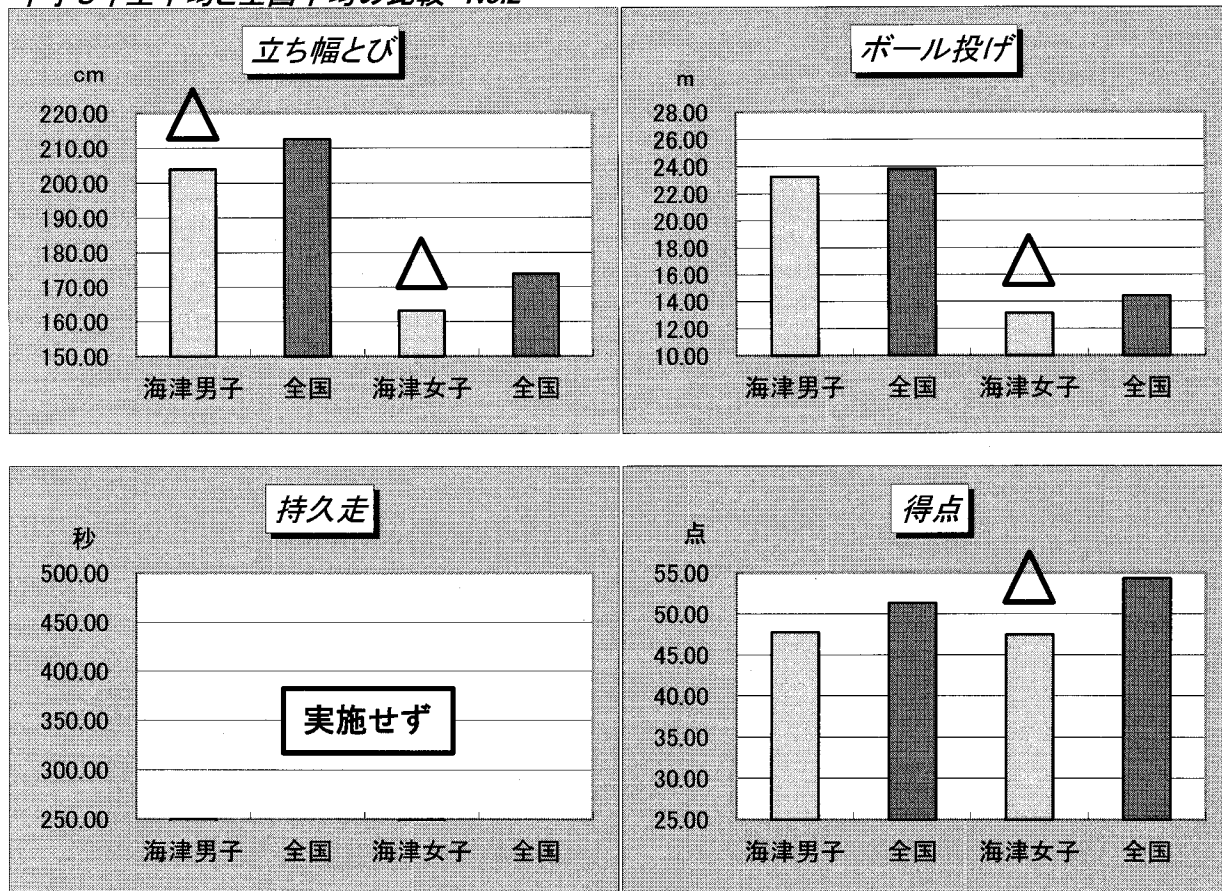
- 男女における握力と、女子におけるボール投げにおいて全国平均を上回った。
- 総合得点における全国平均との比較でみると、昨年度、女子は-4.29ポイントであったのに対し、今年度は、-3.84ポイントと、全国平均に近づいていることが伺える。この数値は、授業前の体力補強運動を強化して取り組んできた一年間の成果が表れていると考える。
- 男女共に、長座体前屈と上体起し等、全国平均を大きく下回っている。腹筋運動や柔軟性を高める運動等、更に充実させる必要がある。

中学3年生平均と全国平均の比較 No.1

令和元年度 3年生	男子		女子	
	海津	全国	海津	全国
種目	平均	平均	平均	平均
握力	35.01	34.90	25.14	25.59
上体起こし	28.29	30.44	19.78	25.03
長座体前屈	45.33	47.73	42.90	48.15
反復横とび	53.60	55.92	45.45	48.56
20mシャトルラン	92.68	96.64	53.53	61.19
50m走	7.51	7.44	8.69	8.58
立ち幅とび	203.94	212.56	163.16	173.83
ボール投げ	23.26	23.82	13.13	14.43
持久走		0.00		0.00
得点合計	47.75	51.35	47.46	54.31



中学3年生平均と全国平均の比較 No.2



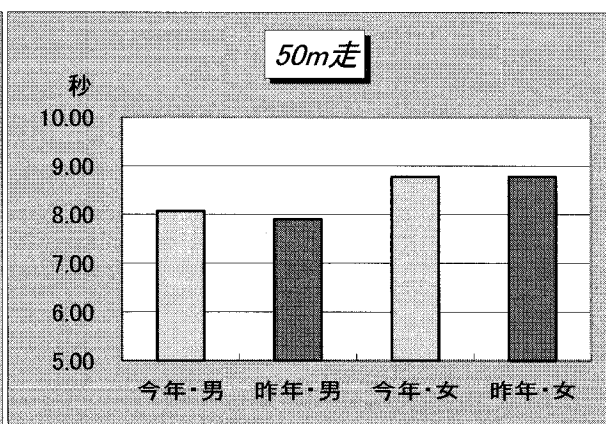
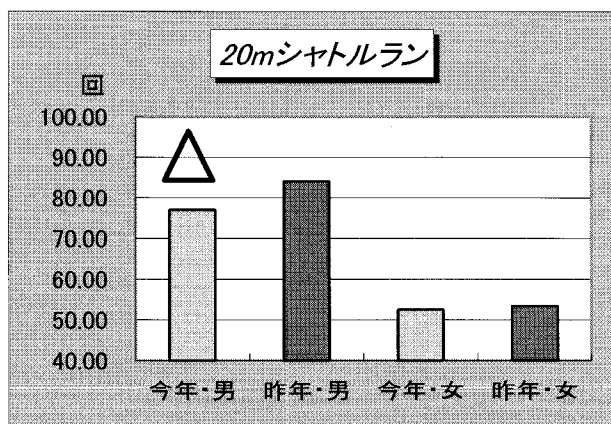
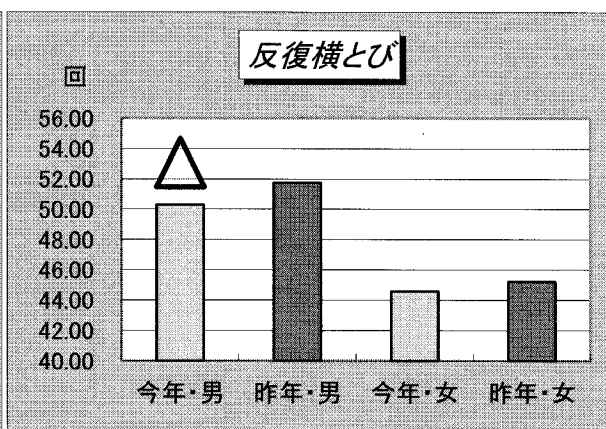
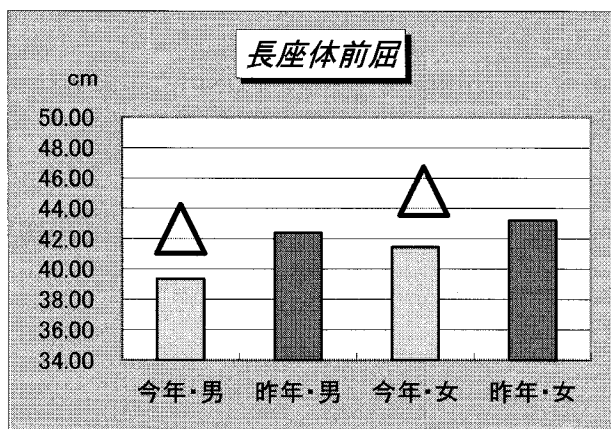
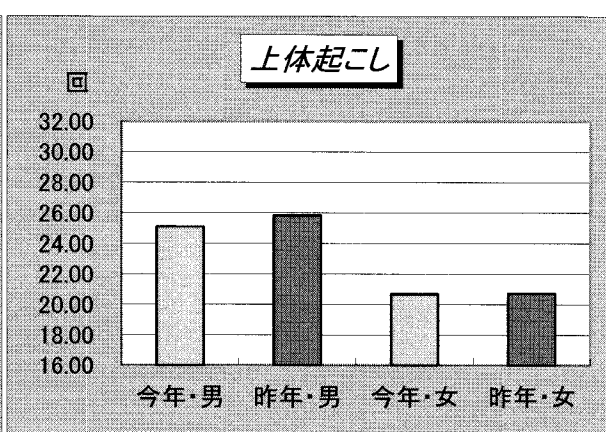
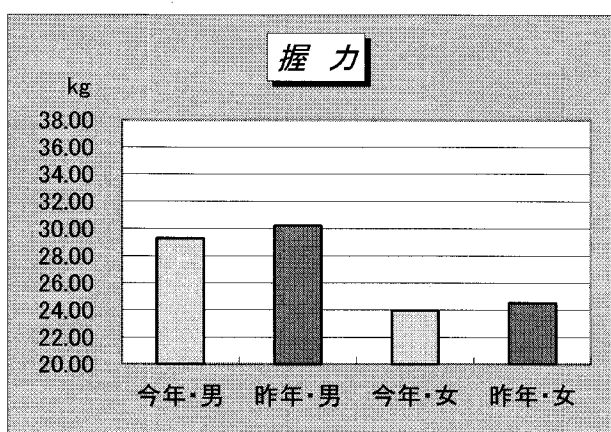
<考察(3年生)>

○電子では、握力において全国平均を上回った。

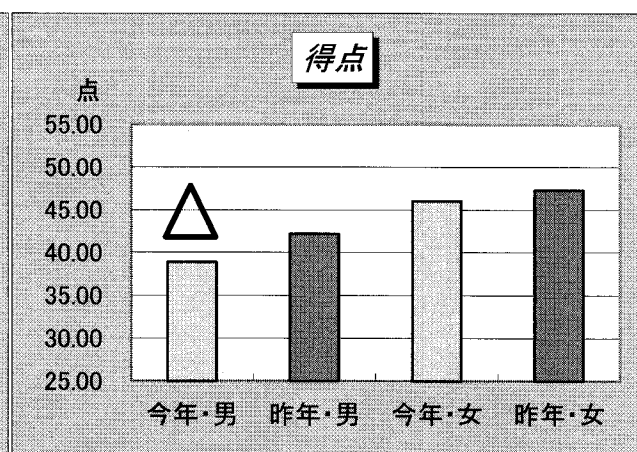
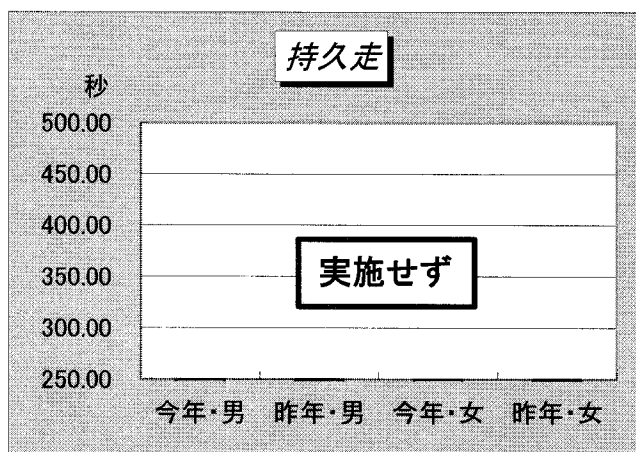
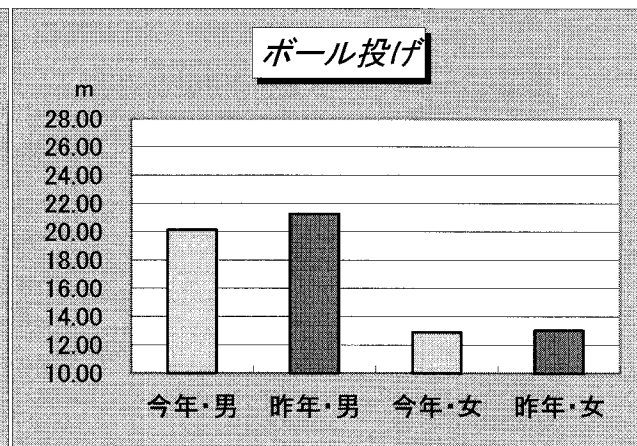
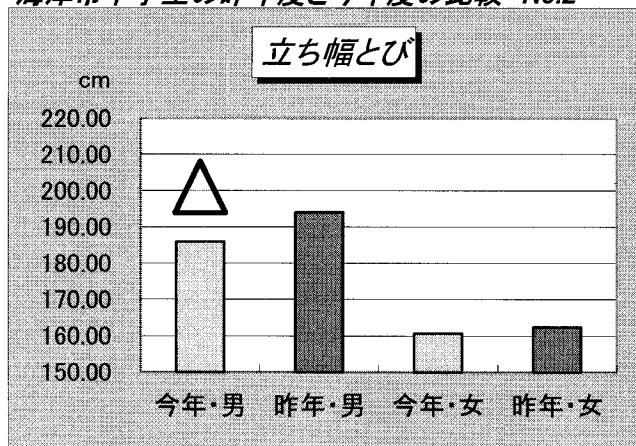
●男女ともに、上体、反復、立幅跳び等の数値が全国平均を大幅に下回っている。体育授業だけでなく、部活動のあり方も含め、今後、学校として、どのように体力づくりに取り組ませていくのか、検討をする必要がある。

海津市中学生の昨年度と今年度の比較 No.1

令和元年度 海津市	男子		女子	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度
種目	平均	平均	平均	平均
握力	29.29	30.22	23.96	24.53
上体起こし	25.10	25.84	20.69	20.71
長座体前屈	39.35	42.40	41.47	43.22
反復横とび	50.29	51.75	44.57	45.20
20mシャトルラン	77.01	84.01	52.51	53.41
50m走	8.07	7.90	8.78	8.78
立ち幅とび	185.92	194.00	160.64	162.35
ボール投げ	20.13	21.24	12.90	13.03
持久走	0.00	0.00	0.00	0.00
得点合計	38.88	42.19	46.00	47.30



海津市中学生の昨年度と今年度の比較 No.2



<考察(全体)>

昨年度は、海津市全体としての体力づくりの成果が大きく向上した一年であったが、今年度は、男女とも、すべての種目において記録が低下した。その大きな要因の一つは、部活動にあると考える。現在、働き方改革の波を受け、どの学校においても、部活動のあり方が見直された。さらに、来年以降は、全員加入型の部活動から、自由参加型の部活動へと変化する。そういった改革を推し進める中で、技術指導を柱とした地域社会人コーチの効果的な活用や保護者会が主体となるクラブ活動の在り方を十分検討し、子どもたちにとって実りある活動の場を確保・提供することが、子どもの体力や運動能力の向上を図る上で、最も重要であると考えている。